

172
5
455

解室

五架

三四號

一冊

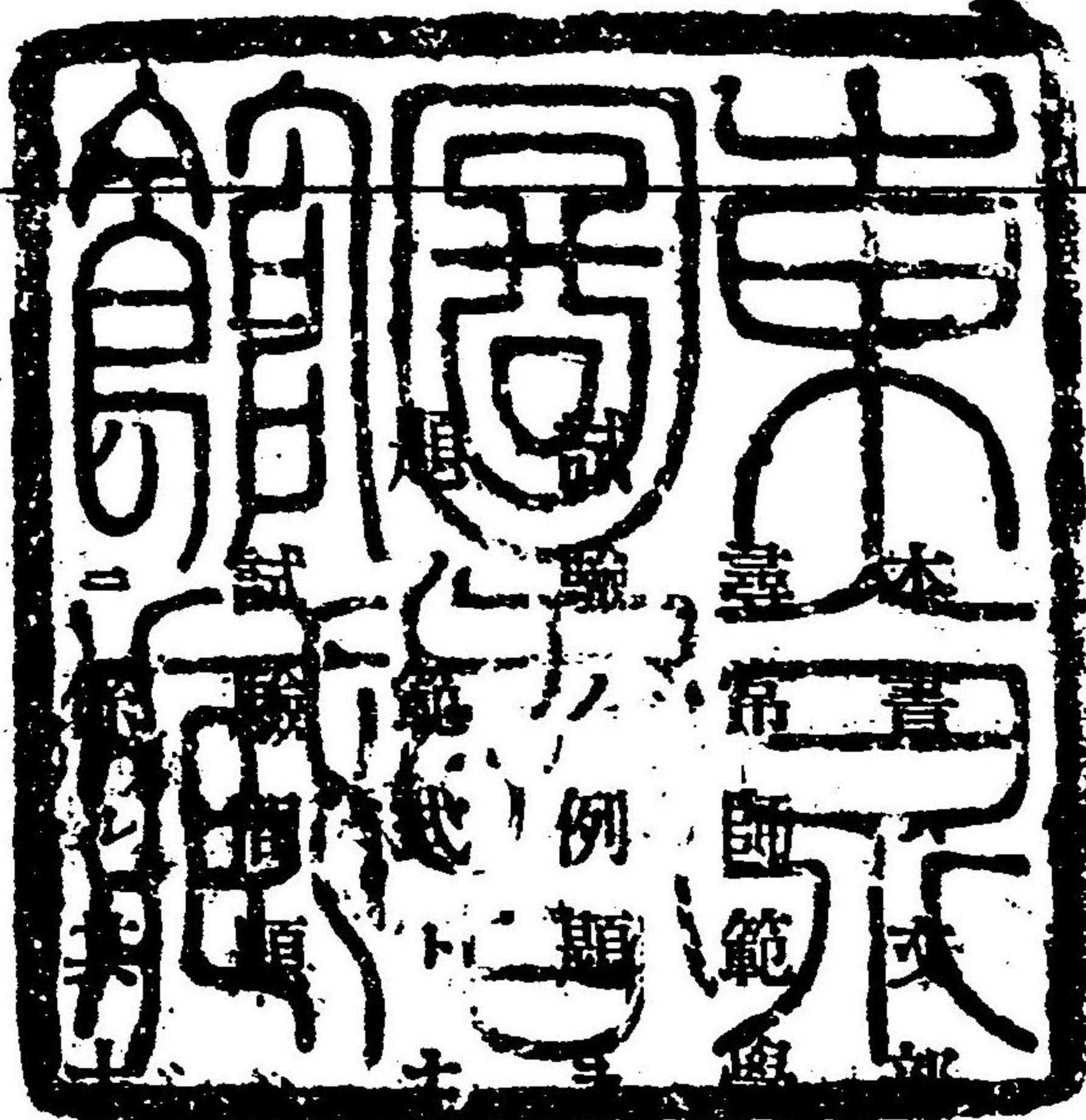
尋常師範學校

尋常中學校

高等女學校

文員變式會集

No 1125



高等尋常
師範學校
中等女學校

教員學力試驗問題



省ノ特許ヲ受ケ文部省ニ於テ執行セラ
ル校尋常中學校高等女學校ノ教員學力檢定
蒐集シ該受驗志願者ニ便シ且一般試驗問
題スモノナリ

前ニ在リテ主旨程度頗ル其趣ヲ異ニセルヲ以テナリ
明治二十年二十一年ニ實施セラレタルモ
九年以前ノ者ヲ省略セルハ現行規則改正

(1)

一 各科中授業法及口答問題ハ間々闕如スル者アリ看者
宜シク他ノ學科ヲ參看シテ其程度ヲ了知スベシ

明治二十一年

一 各學科中二十一年ニアリテ二十年ニ無キ者アリ蓋シ
 受験者ノ有無ニ因ル
 一 各科互ニ連絡包含スルモノアリ教育學ノ心理學ニ於
 ル物理學ノ數學ニ於ルカ如シ是等ハ宜シク各科問題ニ
 就テ其關係ヲ明ニスベシ
 一 卷末ニ附記スルニ教員免許規則等ヲ以テセル亦受験
 者ニ便センガ爲メナリ

明治二十一年七月

編者識ス

目次

倫理科	一	丁
教育科	三	丁
國語科	一〇	丁
漢文科	二九	丁
動物科	三四	丁
植物科	三八	丁
鑛物科	四〇	丁
簿記科	四三	丁
地理科	四九	丁
歴史科	五六	丁
物理科	六三	丁

化學科	六九丁
農業科	七六丁
習字科	八一丁
圖書科	八四丁
音樂科	八七丁
普通体操科	九二丁
兵式体操科	九四丁
英語科	一至六丁
佛語科	全丁
獨乙語科	全丁
算術科	六丁
代數科	九丁

幾何科	一二丁
三角法科	一四丁
測量科	一六丁
解拆幾何科	一八丁

尋常師範學校
高等女學校

教員學力試驗問題

明治二十年

倫理學

(1)

- 一 倫理學ヲ定義シ此學ト教育學トノ關係ヲ論ジ「教育ノ目的ハ人ヲ倫理物ト爲スニ在リ」ト云フヘীগレルノ語ヲ批評ス可シ
- 二 善惡ノ標準ニ關スル諸派ノ說ヲ略述シ其最モ取ル可キモノヲ明示スベシ
- 三 何チカ倫理上ノ行爲ト云フヤ
- 四 何チカ良心ト云フ之ヲ開進スル方法ハ如何
- 五 何チカ幸福ト云フヤ

- 六 眞實及び公義ヲ守ルニハ如何ナル思慮ヲ要スルヤ
- 七 親ノ子ニ對スル義務ハ如何
- 八 師弟及び夫婦間ノ義務ハ如何
- 九 人ハ其類ヲ離レテ別ニ義務ヲ行フ可キ所アリヤ

明治廿一年

倫理學

- 一 倫理學ノ範圍scopeヲ説明セヨ
- 二 倫理學ノ他ノ理學ト異ナル所ヲ説明セヨ
- 三 倫理ノ標準standardヲ論辨セヨ
- 四 倫理上ヨリ人類ノ性質ヲ説明セヨ

- 五 隨意倫理律optional moralityト不隨意倫理律obligatory moralityトノ區別ヲ説明セヨ
- 六 行爲actionsノ起因springs of actionヲ枚舉シ其性質ヲ詳記セヨ
- 七 人類ノ間ニ存スル諸關係ヲ彙類セヨ
- 八 本務ヲ彙類セヨ
- 九 一社會ト他社會トノ間ニ存スル本務ヲ詳述セヨ
- 十 孝并ニ忠ナル本務ヲ説明セヨ
- 十一 倫理學史ノ大意ヲ記セヨ

明治二十年

教育學(心理學ノ部)

- 一 心神Mental Phenomenaノ現象ヲ攻究スルニハ如何ナル理法Principleヲ用フベキ

- 二 五官及ビ筋肉ノ作用ヲ辨別シ且ツ物体ノ形状、大小、及ビ位置ハ如何シテ覺知スベキヤヲ説明セヨ
- 三 現實ノ感應ト觀念トノ區別及ビ特別ノ觀念ト普通ノ觀念トノ區別ヲ示シ次テ觀念ト判斷ト推論トノ關係ヲ述ベヨ
- 四 心ト物トノ區別ハ如何
- 五 實體論ト名稱論ト概念論ノ區別ヲ説明シ其最モ取ル可キモノヲ示セヨ
- 六 記憶力及ビ追求ノ情ニ關シ教育上特ニ注意スベキコトハ如何

- 七 相對律ハ心神活動上如何ナル作用アルモノナリヤ又複雑聯合トハ如何ナルコトツヤ例ヲ設ケテ其規律ヲ説明セヨ
- 八 知ト情トヲ辨別シ且ツ自己ノ情ノ種類ヲ枚舉シ一々之ヲ解釋セヨ
- 九 正當ノ意志ヲ障碍スル事項ヲ詳論セヨ
- 十 思慮、決斷、及ビ願望ヲ定義シ其ノ意志發動ニ必須ナラザル所以ヲ明示セヨ

- 一 善良ナル教員ノ資格并心得ハ如何
- 二 善良ナル教場ハ如何ナル資格ヲ具有スベキカ委ク之ヲ擧ゲヨ
- 三 生徒ノ觀察力ヲ發達セシムル方法ハ如何
- 四 生徒ヲシテ教授シタル事項ヲ能ク記憶セシメントスルニハ如何ナルトニ注意スベキヤ
- 五 總テ學業ヲ授ルニ當リ生徒ヲシテ倦マザラシムル方法如何
- 六 生徒ヲ試験スルニ際シ教師ガ出ス問題ハ如何ナル資格ヲ具有スベキカ
- 七 訓練ト授業ト如何ナル差別アルカ
- 八 情緒ハ種々アリ今善良ナル教育ヲナサントスルニハ

其中ニテ如何ナル者ヲ發育シ如何ナル者ヲ抑制スベキカ

九 往右羅馬人ノ其子弟ヲ教育スルヤ男子ハ毎ニ父ノ側ニ在リ職業ニモ市場ニモ饗筵ニモ公會ニモ皆從ハザルナク又女子ハ男子ノ父ニ於ケルカ如ク終始母ノ側ニアリト今日ノ教育法ニ比較シテ其優劣得失ヲ詳論セヨ

明治二十一年

教育學(心理學ノ部)

- 一 Idea of mind
心ナル觀念ハ何ヨリ生ズルヤ
- 二 Subject-experience Object-experience
主觀經驗ト客觀經驗トノ區別ハ如何

- 三 Muscular feeling 筋肉感ノ性質ハ如何
- 四 記憶作用ノ方法ヲ詳記セヨ
Abstraction Induction Deduction Discovery Imagination
- 五 抽象、歸納、演繹、發明、想像等ノ作用ヲ講述セヨ
- 六 年齢ト知力トノ關係ハ如何
Emotion
- 七 情緒ヲ定義シ及び其性質ヲ説明セヨ
Emotions of Relativity Irassible Emotion
- 八 相對ノ情及び憤怒ノ情ヲ講述セヨ
Ideal Emoton Actual Emotion
- 九 純相ノ情ト現實ノ情トヲ比較セヨ
- 十 意志力成長ノ順序ハ如何
- 十一 意志ト知力トノ關係ハ如何

十二 Mental state of Belief 信向ナル心態ヲ説明セヨ

- 一 教師トナルニハ教授スベキ諸學科ノ知識ヲ有スルコトノ外ニ如何ナル須要ノ事項アルカ悉シク之ヲ記スベシ
- 二 如何ナル心意ノ有様ハ識得ヲナスニ最モ適當ナルカ
- 三 問答法ニテ教授スルトキノ心得如何
- 四 學校ニテ体操ヲナス目的ハ如何
- 五 學校ニテ手ノ修練ト腦ノ修練トヲナスコトニ付キ各自ノ考ヲ述ブベシ
- 六 實物教授ヲナストキニ注意スベキコトハ何々ナルカ
- 七 道德教訓ノ方法如何

- 八 善長ノ習慣ヲ作ルニハ如何スベキカ
- 九 訓練ニハ如何ナル方便ヲ使用シ如何ナル方便ヲ避クベキカ
- 十 智育德育体育ハ互ニ如何ナル關係ヲ有スルモノナルカ

明治二十年

國語

設問課

- 假字づかい
- 一 短 虹 梶 躑躅 蚯蚓 法師 格子
- 右、訓の、假字をつくべし。

- 一 小路は、古來、こ[○]うちと書き、日向は、古來、ひ[○]うがと書く。
右、何故に、うと書きて、ふとは書かぬか、其説明をすべし。
- てにをは
- 一 思ふ事千枝にや繁し呼子鳥
右、二首の歌の、あやまりを指點して、其正誤をつくべし。
- 一 出づるとも入るともなく
足引の山の尾上にすめる月哉
- 作用言
- 一 はたらかす 生く

右、二語、何段の、活用と云ふ事を、説明すべし。

○ 作文

- 一 女學校創立の記
- 一 和漢學教授法の論
- 一 史學をすゝむる書翰

解釋課

伊勢物語八十五段

むかし男有けり、わらのよりつかうまつりける君、御ぐしれ
 ろしたまうてけり、む月にのかならずまうでけり、たほやけ
 のみやづかへしければ、つねにはぬまうでず、されどもどの
 心うしなはでまうでけるになん有ける昔つかうまつりし

人、俗なる禪師なる、あまたまゐりあつまりて、陸月なればこ
 とたつとて、たほみきたまひけり、雪こぼすがごとふりて、ひ
 ねもすにやまずみな人ゑひて、雪にふりこめられたりとい
 ふを題よて歌有けり

たもへども身をし分ねばめがれせぬ雪のつもるすわが
 こゝろなる

とよめりければ、みこいといたうあわれがりたまうて、御ぞ
 ぬきてたまへりけり

枕草子

すさまじきもの

晝はゆる犬、春のあじろ、三四月の紅梅のきぬ、ちごの
 なくなりたるうぶ屋、火れこさぬ火桶すびつ、牛にくみ

たる牛かひ、はかせのうちつとぎ、女子らませたる、かた
 とがへにゆきたるに、あるじせぬ所、まして節分はすさまじ、
 人の國よりれこせたる文の物なき、京のをも、さこ、そのれも
 ふらめども、されどそれはゆかしき事とも書あつめ、世にあ
 ることをきけよし、人の許に、わざとさよげに書たてよ
 やりつる文の、返事見ん、今のきぬらんかしと、あやしくたろ
 きと待ほせに、有つる文の結びたるも、豎ぶみも、いときたな
 げにもちなし、ふくためて、うへに引たりつる墨さへきぬた
 るを、れこせたりけり、れいしまさとりけりとも、もしの物忌
 どて、取いれずなど、もてかへりたる、いとわびしくすさまじ、
 又かならずくべき人の許に、車をやりてまつに、入くるれと
 すれば、さなよりと人々出て見るに、車やどりに入で、ながぬ

ほうとうちれるすを、いかなるぞとへば、けふこれほしま
 さず、わたり給はずとて、牛のかざりひき出ていぬる

徒然草五十六段

久しくへだよりて、あひたる人の、わが方にありつる事、數々
 に、残りなくかたりつとくるこそ、あいなけれ、へだてなくな
 れぬる人も、程へてゑるに、はづかしからぬか、つぎさまの
 人の、あゝらさまに、立いでよも、興ありつることよて、いきも
 つぎあへず、かたり興ずるぞかし、よき人の、ものがたりする
 の、人あまたあれど、ひとりむきていふを、れのづから、人も
 きくにこ、ろあれ、よからぬ人の、誰ともなく、あまたの中にう
 ちいでよ、ゑることのやうに、かたりなせば、みなねなしく、笑
 ひのよしする、いとらうがはし、をかしき事といひても、いたく

興せぬと、興なきことをいひても、よく笑ふにぞ、品のほどは
かられぬべき、人のみさまの、よしあし、ざねある人の、この
となど、さだめあへる、よ、れのが身に、ひきかけていひいで、た
る、いとわびし、

増鏡内野の雪の巻

院のうへ、とばどのにおはしますところ、神無月の十日ごろ、朝
觀の行幸し給ふ、世にあるのざりの、おんたちめ、殿上人、つか
うまつる、いろくの菊もみちをこきませて、いとじうおも
しろし、女院もおはしませば、はいしたてまつり給ふを、大き
れととみたてまつり給ふに、よろこびの涙ぞ、人わろきほど
なる、

ためしなきわが身よいかに、としたりけて

かゝるみゆきにけふつかへつる

げに大かたの世につけてだに、めでたくあらまほき事ど
もを、わが御すゑと見給ふねととのこゝち、いかばかりなり
けん、こしかたもためしなきまで、おまもろしのにしき、あ
やを、たちかさねたり、大きねととばかりぞ、ねびたまへれば、
うられもて去るきあやの下かさねときたまへるしも、いと
めでたくなまめかし

琴後集

人の訪へる後よおくる書

をとつ日、い、むぐぐがもとをとばせ給ひて、おくりなく、御物
語きこえうけ給はりし、いとうれしうなん、とばせ給へる
をぢく御こたへとくきこえさせつべきを、老ほけ侍るみ

の、病さへくはよりて、はかしくしうもものし侍らざりしり、いとなめげなるわざになむ、のたまひし事ども、まづかに考へ侍るに、まづの御心もちひのくはしき、御學のひろき、さらになれ、とほせ給ふことありとも、おしこき御耳をひろむべき事も何か侍らむ、されど御詞のるむおしとおもひ侍れば、あらぬひがことを、ひとつふたつ、しりへにかいつけ侍り、猶申すことたがひ侍らんをば、さらにかへさひをしへ給はらんこところあらまほしけれ、あなかしこ、

右ヲ俗通ノ書簡文ニ譯スベシ

北邊文集

賀茂季鷹が江戸に居けるにおこせたる書の返事

かしこまりて承りぬ、のたまはせたるやうに、物ごとにあらたまりぬるほどに、どかくうちまぎれ侍りて、久しう聞えさせず侍り、此頃上総とかへ下らせたまへるよしをも、御文にてなん承りつる、珍しくたいめせさせ給ひて、いかにうれしうおほもしつらん、平前に歸らせ給ひけるとなんよろこび侍る、其御便にとて、むらさい海苔給はせたるの、淺草の淺からずなん、入江法橋の去年の冬上りきてよりこゝちあしとて、まじらひもせられざめれば、久しうたいめし侍らず、實にいいさゝりかしこまるべき事の侍りて、籠り居たるなりとか、みそかに人のいひきゝせて侍るの、そらごとによ侍らむ、委しくのしり侍らず、老いたる父の、平かに侍る、御ことづて

ひ、言聞のせて侍りぬ、道遠く年へだよりぬるを、忘れずとは
せ給へるをぞ、深くよろこび侍る、聞えさせまほしきこと多
く侍れど、また便侍らん時とて、とどめ侍りぬ、あなかしこ、

右チ俗通ノ書簡文ニ譯スベシ

萬葉集卷一

安見知之吾大王神長柄神佐備世須登芳野川多藝津河内爾
高殿乎高知座而上立國見乎爲波疊有青垣山山神乃奉御調
等春部者花挿頭持秋立者黃葉頭刺理遊副川之川之神母大
御食爾仕奉等上瀬爾鵜川乎立下瀬爾小網刺渡山川母依低
奉流神乃御代鴨

反歌

山川毛因而奉流神長柄多藝津河内爾船出爲加母

萬葉集卷三

長皇子遊獵獵路池之時柿本朝臣人麻呂作歌

八隅知之吾大王高光吾日乃皇子乃馬並而三獵立流弱薦乎
獵路乃小野彌十六社者伊波比拜目鵜己會伊波比回禮四時
自物伊波比拜鵜成伊波比毛等保理恐等仕奉而久堅乃天見
如久眞十鏡仰而雖見春草之益目頰四寸吾於富吉美可聞

反歌

久堅乃天歸月乎綱爾勅我大王者蓋爾爲有

古今和歌集

夏歌

うづきにさけるさくらをみてよめる

紀としさだ

哀てふことをあまたにやらじとや春におくれてひとりさ
くらん

秋歌

寛平御時きさいの宮の歌合のうた

大江千里

うゑし時花まちどほにありし菊うつろふ秋にあはんどや
見し

明治二十一年

國語

作文課

題

史學の論

觀櫻の記

設問課

く(來)

す(爲)

右二つの語の活用を説くべし。

もみぢばを、さこそ嵐の、はらふらん、このやまもとい、あめと
降るなれ、
おのづから、思ひ出づとも、かひぞなき、契りしまゝの、こゝろ
ならずば、
日にそへて、よし立ちにけり、わが園の、たけの小枝の、うぐひ
すのこゑ、

右、三首の歌の誤を指すべし。

解釋課

枕の草紙の内

頭辨のまきにまゐり給ひて、物語などま給ふに夜いとふけぬ、あす御物忌なるまこもるべければ、丑になりなばあしかりなんとてまゐり給ひぬ、つとめて藏人所のかうや紙ひきゝさねて、後のあしたは残り多かる心ちなんする、夜とどほして昔物語もまきこえあかさんとせしを、鳥の聲に催されてと、いとみじう清げに、うらうへに事多くかき給へるいとめでたし、御返りに、いと夜深く侍ける鳥の聲に、まうさうくんのにやどまきこえたれば、たちかへり、まうさうくんにはどりの、函谷關を開きて、三千の客わづかにされりといふり、

あふさかの關の事なりとあれば

夜をこめて鳥のうらねはかるとも、

世にあふさかのせきもあるさし

心かしこき關守侍るめりときこゆ、たちかへり

あふさかの人こえやすき關なれば、

鳥もなかねとあけてまつとか

とありし、文どもを、はじめの僧都の君のぬかをさへつきて取給ひてき、後くのに御まへにて、さて逢坂の歌のよみへされて、返しもせず成にたる、いとわろしとわらひせ給ふ、さて其文の殿上人みな見てし、このたまへばまことにおぼしけりとの、これにてころまゝぬれ、めでたき事など人のいひつたへぬにかひなきわざを、又みぐるしければ、御

文のいみじくかくして、人に露みせ侍らぬ、心ざしのほどを
くらぶるに、ひとしうこそいへば、から物思ひまはりてい
ふこそ、猶人々ににす思へど、思ひくまなくあしうまたり
なご、例の女のやうにいとんところ思ひつるにとて、いみじ
う笑給、下略以

寶龜二年二月、弔三賻左大臣正一位藤原朝臣永手詔、

續日本紀

藤原左大臣彌詔大命乎宣大命坐詔久大臣明日者參出來仕
止侍比賜間彌休息安亞利參出須事波無之天皇朝乎置而罷
退止聞看而於母富久於與豆禮多波許止加云、信有者、

仕奉之、大政官之、政誰任、罷伊麻須、執授、罷伊麻須、
恨、悲、母、加、朕、大、臣、誰、加、我、語、比、佐、氣、牟、執、加、我、問、比、佐、氣、牟、
悔、彌、惜、彌、痛、彌、酸、彌、大、御、泣、哭、之、坐、止、詔、大、命、乎、宣、悔、加、惜、母、自、
今日者、大臣之、奏之、政者、不聞看、夜成牟、自明日者、大臣之、仕奉、
儀者、不看、行夜成牟、日月累往、麻、悲、事、之、未、彌、可、起、母、歲、時、積、
往、麻、彌、佐、夫、之、岐、事、之、乃、未、彌、可、益、母、加、朕、大、臣、春、秋、麗、色、波、誰、俱、母、加、
見、行、弄、賜、牟、山、川、淨、所、者、孰、俱、母、加、見、行、阿、加、良、開、賜、牟、
賜、比、大、坐、坐、止、詔、大、事、乎、宣、美、麻、之、大、臣、乃、萬、政、總、以、無、怠、緩、

事、無曲傾事久、王臣等母彼此別心無、普平奏比、公民之上、廣
 厚慈而、奏事此耳不在、天皇朝乎、暫之間母、罷出而休息安、事
 無、食國之政乃、平善可在狀、天下公民之息安、倍流事乎、旦夕夜
 日不云、思議奏比仕奉者、欵美明美、意太比之美、多能母志美、思
 保之、大坐坐間彌、忽朕朝乎離而、罷禮、奴、言、須部母無、爲、牟
 須部母不知彌、悔備賜比、和備賜比、大坐坐止、詔大命乎、宣下略

舒明天皇九年條 ○日本紀

是歲蝦夷叛以不朝、即拜大仁上毛野君形名爲將軍、令討、還爲
 蝦夷見敗、而走入壘、遂爲賊所圍、軍衆悉漏、城空之、將軍迷不知

所如、時日暮、踰垣欲逃、爰方名君妻歎曰、慄哉、爲蝦夷將見殺、謂
 夫曰、汝祖等、渡蒼海、跨萬里、平水表、政以威武、傳於後葉、今汝頓
 屈先祖之名、必爲後世見嗤、乃酌酒強之飲、夫而親佩夫之劍、張
 十弓、令女人數十、俾鳴弦、旣而夫更起之、取伏仗而進之、蝦夷以
 爲軍衆猶多、而稍引退之、於是散卒更聚、亦振旅焉、擊蝦夷大敗、
 以悉虜

右ヲ和文ニ譯スベシ

明治二十年

漢文

文題

某氏農書序

觀練兵記

右ノ内一題ヲ撰ムヘシ

解釋課

天降大任章

孟子

孟子曰舜發於畎畝之中傳說舉於版築之間膠鬲舉於魚鹽之中管夷吾舉於士孫叔敖舉於海百里奚舉於市故天將降大任於是人也必先苦其心志勞其筋骨餓其體膚空乏其身行拂亂其所爲所以動心忍性曾益其所不能人恒過然後能改困於心衡於慮而後作徵於色發於聲而後喻入則無法家拂士出則無敵國外患者國恒亡然後知生於憂患而死於安樂也

贈崔復州序

韓愈

有地數百里趨走之吏自長史司馬已下數十人其祿足以仁其三族及其朋友故舊樂乎心則一境之人喜不樂乎心則一境之

人懼丈夫官至刺史亦榮矣雖然幽遠之小民其足跡未嘗至城邑苟有不得其所能自直於鄉里之吏者鮮矣况能自辨於縣吏乎能自辨於縣吏者鮮矣况能自辨於刺史之庭乎由是刺史有所不聞小民有所不宜賦有常而民產無恒水旱癘疫之不期民之豐約懸于州縣令不以言連帥不以信民就窮而斂愈急吾見刺史之難爲也崔君爲復州其連帥則于公崔君之仁足以蘇復人于公之賢足以庸崔君有刺史之榮而無其難爲者將在於此乎愈嘗辱于公之知而舊遊于崔君慶復人之將蒙其休澤也於是乎言

六經編

清

王鉞

六經之書議最平而意則遠情最切而理則辨詞最該而氣則直體尤樸而文則工時而爲江河時而爲山嶽時而爲日星時而爲

雲漢故六經之於文則造化也然而詭怪則不如老莊矣奇險則不如屈宋矣深核則不如管商矣誕放則不如荀列矣獨是諸子之所有一皆六經之所不屑有而其精者皆不出乎六經特其造意選詞旁見側出而傳之以險怪緯之以奧僻遂使古今才雄識淺者挾而求之積而有之以是為秘密而不知其比於玩物喪志也何足與論六經之大哉

明治二十一年

漢文

文題

讀普法戰記

某縣某學記

解釋課

論語

子張問行、子曰、言忠信、行篤敬、雖蠻貊之邦行矣、言不忠信、行不篤敬、雖州里行乎哉、立則見其參於前也、在與則見其倚於衡也、夫然後行、子張書諸紳、

黃仙嶠詩序

清 曾國藩

古之君子所以自拔於人々者豈有他哉、亦其器識有不可量度而已矣、試之以富貴貧賤、而漫焉不加喜戚、臨之以大憂大辱、而不易其常、器之謂也、智足以括天下之微芒、明足以破一隅之固、識之謂也、器與識及之矣、而施諸事業有不逮、君子不深譏焉、器識之不及、而求小成於事業未矣、事業之不及、而求有當於語言文字、抑又未矣、故語言文字者、古之君子所偶一涉焉、而不齒諸有亡者也、

史記

田單乃收城中得千餘牛、爲絳繒衣、畫以五采龍文、束兵刃於其角、而灌脂束葦於尾、燒其端、鑿城數十穴、夜縱牛、壯士五千人隨其後、牛尾熟、怒而奔、燕軍、燕軍夜大驚、牛尾炬火光明炫燿、燕軍視之皆龍文、所觸盡死傷、五千人因銜枚擊之、而城中鼓譟從之、老弱皆擊銅器爲聲、々動天地、燕軍大駭敗走、齊人遂夷殺其將、騎劫、燕軍擾亂奔走、齊人追北、所過城邑皆畔燕而歸田單、兵日益多、乘勝燕日敗亡、卒至河上、而齊七十餘城皆復爲齊、

明治二十年

動物學試驗問題

(一) 有脊動物呼吸器ノ種類並ニ其生理的官能如何

(二) 食物中ノ蛋白質、脂肪及ビ澱粉ハ消化器中何ツレノ部

ニ於テ何ト名ケタル液ニ由テ化學的變化ヲ受ル哉

(三) 第三對腦神經ノ起始、分布及ヒ其官能如何

(四) 輪順生殖 (Alternation of Generation) ナナス動物ノ例ヲ舉ゲ且

シ其狀況ヲ詳記スベシ

(五) 左ノ動物ノ属スル綱目ヲ示スベシ

- 牛、蝸牛、鯨、枝珊瑚、馬、蜘蛛、百足、豚、ア
- カエビ、ナヨウザメ、ハマグリ、アハビ、サナダ
- ムシ、ハマコ、クラゲ、ウニ、エビ、セミ、ヤツ
- メウナギ、ミ、ズ

(六) 動物卵ノ構造及ビ其分裂シテ *Gastrula* ラコ至ルマデ

ノ顯象ヲ記スベシ

動物學教授法試問

戶外ニテ動物學ヲ教ユルニ如何ナル藥品、器具等ヲ攜帶スベキ哉

同口答實地問題

(1) 蛙ヲ解剖シ運動神經ノ一ヲ取出サシメ而シテ其果シテ運動ヲ掌レルヲ試驗的ニ証明セシメ且ツ諸内臟ノ名稱ヲ問フ

(2) 海綿ヲ出シテ其構造ヲ指示セシム

(3) 海膽ヲ示シテ其構造ヲ問フ

明治二十一年

動物

設問

一 無雄生殖(Parthenogenesis)トハ何ヲ云フヤ、其例ヲ舉ゲヨ

二 有脊動物ノ神經系統ノ發生ヲ説明セヨ

三 反芻類(Ruminantia)ノ胃ノ構造ヲ記セヨ

四 有脊動物ノ身體ヲ保護センガ爲メ上^{エピデルミス}皮ヨリ變生セシ構造ハ何ナリヤ

五 人類ニ寄生スル絛蟲ノ中主ナル三種ヲ掲ゲ其區別及

ビ生歴ヲ記スベシ

六 擔管類(Diphonophora)ノ構成如何

同授業法問題

血液循環ノ狀態ヲ示スニハ何等ノ器械ト動物ヲ要スルヤ、其方法ヲ記スベシ

明治二十年

植物學

設問課

左ノ六題ヲ詳述セヨ

- (一) 特殊ノ功用(function)ヲ爲ス葉ノ種類
- (二) 外長莖ノ直徑年々増大スル模様及ビ年層(annual layer)ノ分別發生スル理由
- (三) 梨子及ビ栗子ノ構造
- (四) 胚珠(ovule)ノ發育ナル状
- (五) 羊齒ノ實囊(sporangium)ノ構造
- (六) 原形質(protoplasm)ノ性質

授業法課

(七) 人為分類ト自然分類トノ差違ヲ教フルニハ如何スル

ヤ

明治二十一年

植物學

設問課

- 一 植物ノ導管トハ何ゾヤ其側膜ニ種々ノ班紋ヲ生ズル方法及ビ班紋ノ種類ヲ記述スベシ
- 二 氣口ノ構造、發生及ビ機能ヲ説明スベシ
- 三 植物ノ同化作用及ビ變質作用トハ各々何ゾヤ之ヲ詳説セヨ

- 四 植物ノ生長カト光線トノ關係如何
- 五 羊齒類ノ蕃殖スル模様ヲ説明スベシ
授業法
- 植物ノ分類ヲ教フルニ如何ナル方法ヲ用フルヤ

明治二十年

鑛物學問題

- 第一問 正方錐 (Tetragonal Pyramid) 及ビ正方柱 (Tetragonal Prism) ノ記標ヲ示シ、三軸何レノ伸縮ニヨリ錐トナリ又柱トナルヤヲ説明スベシ
- 第二問 鑛物ノ光艶トハ如何ナル性質ヲ名ヅケシモノナルカ物理學上之ヲ説明スベシ

- 第三問 酸化鐵其主成分タル諸鑛物ノ名稱、晶系、化學記號、色及ビ條痕ヲ詳記スベシ
- 第四問 黃玉 (Topaz) 青玉 (Sapphire) 硫化安質母尼鑛 (Sibnite) ノ晶系、物理學上及化學上ノ性質ヲ記シ、本邦ノ產地ヲ擧ゲヨ
- 第五問 黃金、黃硫鐵鑛 (Iron Pyrites) 並ニ黃硫鑛銅鑛 (Coppe Pyritess) ノ類似及ビ類似セザル事柄ヲ詳記セヨ
- 第六問 粘土ハ主トシテ如何ナル鑛物ノ分解セシモノナルヤ
同授業法問題
- 第一問 鑛物ノ分類法ハ如何ナル主性質ニ基キシモノナルヤ

明治二十一年

鑛物學設問

- 一 等軸四十八面體 (Hexakisoctahedron) ノ (A) 各面ト品軸トノ關係 (B) 同體ト斜方十二面體 (Rhombic dodecahedron) ノ關係 (C) 兩體ノ記號ヲ問フ
- 二 茲ニ各六晶系ニ屬スル諸鑛物アリト假定シ之等ニ加熟セバ其膨脹ノ狀態ハ如何
- 三 猫睛石 (Cat's eye) ニ特有ナル星形彩 (Asterism) ハ其理由何如
- 四 劈開ト斷口トノ區別如何
- 五 黃鐵鑛ノ晶像、性質、及ビ用法ヲ記載ス可シ
- 六 主要ナル鐵鑛ノ種類ヲ擧ゲ之等ノ性質ヲ問フ
- 七 泡滾石 (Zeolites) トハ如何ナル鑛物ノ種屬ニシテ如何ナ

ル特徴ヲ有シ、又如何ナル岩種ニ普通存在セルヤ

鑛物學授業法設問

火山ノ作用ト地中循環ノ水ヨリシテ鑛物ノ生ズルコトヲ簡單ニ授業スル心得ニテ試ミヨ之ヲ略記スベシ

明治二十年

簿記學問題

理論

- (1) 左ノ用語ノ意義ヲ解説セヨ
○借方貸方 ○資産負債
- (2) 複式ニ於テ借貸雙方ノ金額均一平等ナラサルベカラサル所以ハ如何

(3) 單式ヲ複式ニ變更スルノ仕方ヲ問フ

應用

(1) 左ノ取引ニ係ル借貸仕譯日記帳ヲ縱横両様ニ分チ其

記入方ヲ示セ

但シ例題第一ヨリ第三迄ハ横式第四第五ハ縱式ヲ用フベシ

例題

一 明治二十年四月一日 上野繁助ヨリ營業資本ト

シテ現金五萬圓整理公債證書額面金參萬圓(實面額)

見做シテ地所家屋ニテ金貳萬圓合計金拾萬圓ヲ

元入レセリ

二 同日 現金參萬五千圓ヲ第一國立銀行へ當坐預

ケトナス

三 同日 第一國立銀行へ當坐預メ金ノ際金貳拾圓

ノ贖造紙幣壹葉發見シタルニ同銀行ニ於テ制規

ヲ通り切斷セラレタリ

四 同日 櫻屋花吉ヨリ美濃器大砲(生絲)參拾捆(壹付關)

五參百ニ拾)買入レ此代金壹萬九百五拾圓ノ内金

五千九百五拾圓現金ニテ仕拂ヒ殘額ハ三十日目

拂約束手形ヲ渡シタリ

五 十九日 去ル一日買入生絲代金ノ内櫻屋花吉へ

渡シ置タル約束手形金五千圓都合ニヨリ割引ノ

上拂渡ス但シ本日ヨリ期限迄ノ日數十二日間ノ

利子ヲ金貳錢日歩(百付圓)ノ割合ニテ差引殘額ヲ現

- 金ニテ仕拂ヒタリ
- (2) 茲ニ數拾萬金ヲ運用スル所ノ問屋アリ其組織ヲ云ヘハ勘定方仕入方販賣方等ノ數科ニ分レ數十人ノ手代番頭等ヲ使役シ隨分盛大ナル商店ナリ今本店ニ適用スヘキ帳簿ノ仕組及其帳名様式等ヲ舉ケ其編制方ヲ略說セヨ
- (3) 總勘定一覽表ノ雛形ヲ示セ

明治二十一年

簿記試驗問題

- 一簿記學ニ於ケル借ト貸トノ趣意及ビ之ヲ單記式并ニ複記式ニ應用スルノ方法

- 一元帳ノ口譯勘定ヲ何故且何々ノ種類ニ分類セラレ、ヤ并ニ元帳決算ノ節斯ク類別セル勘定ヲ其種類ニ依リ之ヲ取纏ムルノ手續
- 一帳簿ハ通常如何ニ類別シ然カシテ通常ノ主要帳ハ何々帳ニシテ其一類ヨリ他ノ一類ノ帳簿ニ其性質ヲ變スルコトヲナシ得ルヤ如何
- 右理論三問題ヲ筆記ニテ説明スベシ
- 一武藏屋ヘ掛ケ賣代金七百五拾圓ノ貸金之レ有リシ處右代金トシテ内金貳百五拾圓ヲ現金ニテ受取り殘金五百圓ヲ同人振出シ本店宛伊豆屋伊平ヘ向ケ振込ノ爲換手形ヲ遣ハセシニ依リ直チニ伊豆屋伊平ニ照會セシ處手形面期日ノ通り支拂承諾ニ付其旨ヲ右手形ニ記入セリ

一石ノ卷伊達屋宗助ヨリ左ノ物品ヲ賣捌委托ノ爲メ積送
レリ右荷物ハ運賃先キ拂ニ付當店ニ於テ百石ニ付金四
拾五圓ノ割合ヲ以テ日本郵船會社へ拂渡ス

本石米貳千五百俵

壹俵平均四斗入

壹石金四圓三拾錢替

一渡邊千吉ヨリ掛買代金ニ對シ同人ヨリ伊藤文吉へ宛金
千圓ノ爲換ヲ當店へ向ケ振込ミタルニ依リ當店ニテ兼
テ右支拂承諾ノ旨ヲ記載シテ伊藏文吉へ此手形ヲ相渡
シ之レ有カシ處其期日ニ至リ支拂金ノ都合ニ依リ十日
間ノ延期ヲ依頼シ置キ本日ハ其期日ニ付元金千圓ト外
ニ年壹割ノ割合ニテ右十日間ノ利子トヲ併セテ現金ニ
テ支拂フ

右應用三問題ニ付日記帳仕譯帳元帳ノ雛形ヲ製シ是等ノ

欠

MISSING

第三 重要ナル産物五種ヲ撰ミ一種ニツキ著名ナル産地

ヲ三ヶ所ツ、列擧セヨ

第四 海軍區ヲ詳記セヨ

同授業法

地理學上ノ事實ヲ精確ニ記臆セシムル方法如何

外國之部

第一 英國ノ産物ニシテ該國ノ富強盛大ノ一元素ト認メ

得ベキモノヲ列擧シ各産物ノ勢力ヲ略論セヨ

第二 獨逸人ノ氣質ヲ略記セヨ

第三 北米合衆國ノ政体ヲ略記セヨ

第四 日本國横濱港ヨリ佛國馬港ニ向テ航行スルニ當リ

寄泊スベキ諸港ヲ列記シ各港ノ氣候、産物、人口、所領

第三 重要ナル產物五種ヲ撰ミ一種ニツキ著名ナル產地

ヲ三ヶ所ツ、列舉セヨ

第四 海軍區ヲ詳記セヨ

同授業法

地理學上ノ事實ヲ精確ニ記憶セシムル方法如何

外國之部

第一 英國ノ產物ニシテ該國ノ富強盛大ノ一元素ト認メ

得ベキモノヲ列舉シ各產物ノ勢力ヲ略論セヨ

第二 獨逸人ノ氣質ヲ略記セヨ

第三 北米合衆國ノ政体ヲ略記セヨ

第四 日本國橫濱港ヨリ佛國馬^{マルセイユ}港ニ向テ航行スルニ當リ

寄泊スベキ諸港ヲ列記シ各港ノ氣候、產物、人口、所領

ヲ記載セヨ

地文學設問

- 一 日本洋流(黒潮)ト墨基志古灣流トノ均シキ點ト均シカラザル點ヲ詳述スベシ
- 二 同温線 (Isothermal Lines)ハ大陸ノ西岸及ビ東岸ニ於テハ如何様ニ彎曲スルヤ又南北兩半球ニテハ其差異アルヤ否ヤ
- 三 各五大陸ノ山脈ノ方嚮ヲ示シ、又著名ナル高點ヲ擧ゲ而シテ五大陸山脈ノ關係ヲ問フ
- 四 大洋ノ深底温度ト表水ノ温度トハ同度ナルヤ又其理由ヲ詳述スベシ
- 五 地殼ノ地質學上系統ヲ表示シ各記ニ特有ナル生物化石ヲ列記スベシ

石ヲ列記スベシ

- 六 各種湖水ノ起因ヲ問フ
- 七 日本ノ雨滋キ時候ハ何ノ頃ナルヤ又其起因ヲ問フ
- 八 新舊半兩球ニハ要スルニ生物ノ種類ニ同シカラザルモノ多クシテ同類ナルモ異種ノ代表物アリ、此ノ異狀ハ何ニ依リテ起リシヤ

地理學授業法

本邦ニハ未ダ地理學ノ良教科書ナシト斷言ス、假リニ之レアリトスルモ教科書ヲ用ユルキハ教員生徒相方ニ無用ノ時間ヲ浪費ス加之ナラズ習學ノ嗜好ヲ失ヒ、必ズ倦厭ヲ來ス可シ、左レハ問フ地理學ノ授業法中最モ適當ナルモノハ何ノ方便ニアルヤ

明治二十年

日本支那歴史問題

- 一 秦以前ノ支那人ノ性質ハ秦以後ノ支那人ト大ニ異ル者アルカ若シ有リトセバ何等ノ原因アリテ然ルカ
- 二 唐時代ニハ學藝等諸般ノ事隆盛ヲ極メタリト云フ其由來如何
- 三 宋元明各國滅亡ノ顛末ヲ記セ
- 四 佛教ノ我國ニ及シタル影響ヲ陳ベヨ
- 五 我邦上古ノ骨政治ハ孝徳ノ朝ニ廢セラレ賴朝ノ時ニ更ニ封建ノ姿トナリタリト云フ其顛末ヲ記セ
- 六 醍醐後三條ノ二帝大江廣元細川賴之板倉勝重等ノ事

跡ヲ舉ケ徳川氏天下平定ノ顛末ヲ記セ

全 (本項ト前項ニ重覆ノ參酌アリテ)

- 一 佛法ハ何レノ時本邦ニ傳來シ何レノ時ニ最盛ニシテ如何ナル影響ヲ及シタルヤ
- 二 (イ) 本邦上古ノカハネノ制ヲ説明シ又其何レノ時如何ナル原因ニ依テ廢セシカヲ論スベシ
- 二 (ロ) 莊園トハ何ヅヤ又其由來如何
- 三 室町氏ノ末ニ起リタル六雄并ニ各其起リタル事情ヲ略記スベシ
- 四 秦以前ノ支那人ト其以後ノ支那人トニ異同アリヤ否ヤ若シ之アラハ其原因如何
- 五 (イ) 兩漢ノ滅亡シタル顛末ヲ記シ各其始祖ノ政略ノ異同

得失ニ論及スベシ

(ロ) 唐代學藝ノ發達及其由來如何

六 (イ) 唐世宗ト織田信長トヲ比較スベシ

(ロ) 左ノ事蹟ヲ略記スベシ

宋ト蒙古トノ關係

靖難ノ變

長髮賊ノ乱

萬國歴史

第一、波斯ノ戰ハ希臘ニ如何ナル影響ヲ與ヘタルヤ又「ピ

リソリリーズ」時代雅典ノ形況如何

第二、羅馬季世ノ形況ヲ記シ併セテ其滅亡ノ原因ヲ論ズ

ヘシ

第三、(イ)「サラセンズ」人歐州侵入ノ顛末ヲ略記スベシ

(ロ) 印刷、火藥、羅針盤ノ發明ハ何レノ時ニアリテ歐州ノ

開明ニ如何ナル影響ヲ及ボシタルヤ

第四、第十世紀第十二紀ノ歐州分裂ノ形況ヲ以テ第十七

世紀第十八世紀ノ統一ノ形況ニ比較シ英吉利佛蘭

西日耳曼西班牙ノ事蹟ヲ舉テ其異同ヲ説明スベシ

第五、左ノ事蹟ヲ略記スベシ

(イ) ロシヤノ勃興

(ロ) フロシヤノ勃興及日耳曼帝國ノ連合

(ハ) 伊太利ノ統一

第六、左ノ人々ニ就テ著名ナル事蹟及其年代ヲ記スベシ

ソ、ローロン、ヂャスチンヤン。アチラシヤ、イレマン。ガス

タマス。アドルフクス。ウヰルヤン、オフオンレヂ。
フランクリン。マリヤ、テレサ。アブラハム、リコル
ン。

歴史授業法問題

從來ノ日本支那歴史ノ体裁ト西洋歴史トノ優劣ヲ比較シ
其劣者ヲ教授スルニ方リ能ク其欠點ヲ補ヒ得ベキ方法(若
シ之アラバ)ヲ詳論スベシ

明治二十一年

歴史

支那問題

第一 (イ)

臣、連、伴造、國造、子代ノ民、部曲トハ何ゾヤ

(ロ)

三韓及ビ支那ノ開化ハ各本邦ニ如何ナル影響ヲ
及ボシタルヤ

第二 (イ)

武人ノ由來如何
足利氏ノ亡ビタル源因ト唐室ノ亡ビタル源因ト

ヲ比較スベシ

第三

鎌倉以後ノ政治家、武將、漢學者及ビ和學者ノ最モ
傑出シタル者各々三人ヲ擧ゲ其事業ヲ記スベシ

第四 (イ)

支那開化ノ止テ進マザリシ源因如何
支那ニ於テ紙、墨及ビ印刷術ノ發明ハ各何レノ時

ニアリシヤ

第五 (イ)

周秦漢地方制ノ利弊ヲ略論スベシ
東漢末ノ形況ト明末ノ形況トヲ比較スベシ

第六 (イ) 壇淵ノ役、元祐ノ黨、莫須有ノ獄トハ何ゾヤ
(ロ) 謝安、馮道、元太祖及ビ世祖ノ事ヲ記スベシ

万国歴史設問

- 第一 宗教改革ノ起原及其沿革ヲ記セヨ
- 第二 雅典制度ノ沿革ヲ略述スベシ
- 第三 羅馬オーガスタス時代政度文物ノ概略如何
- 第四 北米合衆國南北戦争ノ顛末ヲ問フ
- 第五 左ノ人物ハ何時代何國ニテ如何ナル大功業ヲナセシヤ

- (一) ウィクトル、エマニユエル
- (二) シヨン、フビエマキ
- (三) ビートル大王

- (四) グラッカス二氏
- (五) フレデリック大王

第六 左ノ事件ノ要略ヲ述ブベシ

- (一) 英國千六百八十八年ノ革命
- (二) ヴィエナ府大會議
- (三) 佛國千七百八十九年ノ國會

明治二十年

物理問題

一 一箇ノ石アリ之ヲ水中ニ入レテ重サヲ測レハ其重サ
 Wナリ又此レヲ空氣中ニテ測レハ重サVナリ然ラバ
 其比重幾何ナルヤ

- 二 壓縮ポンプヲ以テ密閉セル函内ニ氣體ヲ壓縮スルニ
ピストンノ働キル回ノ後函内壓力ノ増加ヲ問フ
- 三 石ヲ井ノ中ニ落シ水ニ入ルノ音二秒ノ後ニ聞ユ井ノ
水面ノ深サ幾何ナルヤ
- 四 金属ノ線膨脹率ヲトセバ零度ニ於テ其體積五立方
寸ノ者ノ温度ニ於テ體積幾何ナルヤ
- 五 熱ヲ分子「エネルギー」ノ一種トセバ比熱潛熱ノ性質ハ
如何ナルモノナリヤ
- 六 固体ノ屈折率ヲ精測スル方法ヲ述ベヨ
- 七 光ノ源一ノ高レンスヨリ七十寸ノ所ニアリ今若シ此
レンスト焦點ヲ距離ヲ一尺トセバ其寫シ出ス像ノレ
ンスヨリ距離幾何ナルヤ

- 八 光ノ偏リ(分極共云フ)トハ何ゾヤ
- 九 金属線アリ其長サ l 寸其切り口 K 平方寸ニテ其越歴
抵抗 R ナリモシ同質ノ金属ヲ以テ同形ノ線ヲ造リ其
長サ nl トシ其切り口 K 平方寸トセバ其抵抗幾何ナ
ルヤ
- 十 二箇ノ「アンセン」セル「アリ」之ヲ圖ノ如クニ配置シ外部
ノ抵抗五オーム各セルノ内部ノ抵抗
半オーム又各セルノ「エレクトロモター」ガ1.8ゾオウ
トセバ越歴ノ流レノ強サ幾何ナルヤ
- 十一 電流計ノ構造ヲ説明セヨ
- 十二 温度ノ定義ヲ述べ之ヲ測定スル方法ヲ述ベヨ

實驗題

寒暖計ヲ以テ液体ノ温度ヲ測定スル方法
四 鏡ノ半徑ヲ測定スル方法

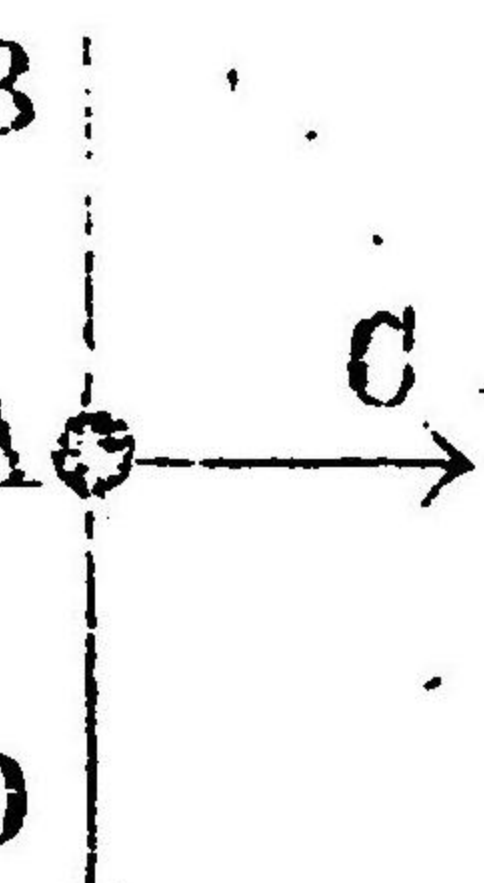
明治二十一年

物理學問題

一 圖ノ如ク三ヶノ力供ニ一點Aノ上ニ働クアリ其大サ

ハBハ三Dハ二Cハ一ナリ今幾何ノ力ヲ

如何ナル方向ニAナル點ノ上ニ働カセテ



ハAニ平均ヲ生ゼシメ得可キヤ

二 地球ノ平均密度ト同シ密度ヲ有スル

球ニテ其直徑地球ノ直徑ノ二倍ナラバ其球面ニ於テ

ノ引力幾何ナルヤ

三 一ヶノ物体アリ真空中ニテ之ヲ秤レバ其重サ百二十

五匁六分アリ之ヲアルコイルノ中ニ浸シテ秤レバ其

重サ百五匁三分ナリ今アルコイルノ密度ヲ八三トセ

ハ此物体ノ比重幾何ナルヤ

四 壹ヶノ器中ニ空氣アリ其壓力一寸平方ニ壹貫五百目

ノ力ナラバ其空氣ノ幾何ヲ器ヨリ取り去レバ其壓力

一寸平方ニ壹貫目トナル可キヤ

五 攝氏寒暖計ノ四十度ハ華氏及列氏寒暖計ノ何度ニ相

當スルヤ

六 水銀百匁ヲ取り之ヲ温メテ攝氏百度ニ昇ラシメ之ヲ

八十五匁ノ零度ノ水ニ入ルレバ混合ノ温度幾何ナル

ヤ但シ水銀ノ比熱ヲ〇三ト假定ス

- 七 熱ノ仕事當量(Mechanical equivalent of heat)ハ如何ナル事ナルヤ
 - 八 全反射ノ現象ヲ説明セヨ
 - 九 大陽ノ光ノスペクトルト月ノ光ノスペクトルトノ差如何
 - 十 グロットフス氏越歴分解ノ假説ヲ述ベヨ
 - 十一 越歴ヲ以テ鐵ヲ磁石ニスル方法如何
 - 十二 或ル音響ノ振動數百三十二ナリ其波ノ長サ二、五五メートルナリトゼハ波及ノ速度幾何ナルヤ
- 教授法問題
- 一 振子振動ノ定律ヲ教フルノ法ヲ詳記セヨ
 - 二 光ノ反射ノ定律ヲ教フルノ法ヲ記詳セヨ

明治二十年

化學問題

- 一、攝氏零度氣壓七十六「サンチメートル」ニ於ケル「シアノゼン」瓦斯「リットル」ヲ取り之レヲ充分燃燒スレバ
 - (イ) 酸素瓦斯幾「グラム」ヲ要スルヤ
 - (ロ) 何ナル物体ヲ幾「グラム」ヅ、生スルヤ
 - (ハ) 生スルトコロノ物体ノ容量合計ハ攝氏二十度氣壓七十「サンチメートル」ニ於テ幾「リットル」ナルヤ
 - 二(イ) 沼氣并ニ生油氣ノ製方ヲ記セヨ
 - (ロ) 沼氣并ニ生油氣ハ如何ンシテ之レヲ識別シ得ルヤ
又兩体混和シタルキハ如何ンシテ之ヲ分離シ得ベ

キヤ

- 三、磷酸「カルシウム」中ノ磷酸ヲ定量スベキ三個ノ方法ヲ明細ニ記セヨ
- 四、茲ニ一ノ金属ヲ含ミタル溶液アリ之レニ鹽酸ヲ加フルモ變化ヲ呈セザレバ硫化水素瓦斯ヲ通スレバ黒色ノ沈澱ヲ生ズ問フ此金属ハ何タルヲ得ルヤ而シテ之ヲ確定スルノ方法如何
- 五、「メチル」化合物ヨリ「エチル」化合物ヲ成生スベキ二三ノ方法ヲ記セヨ而テ方程式ヲ以テ其變化ヲ説明スベシ
- 六、元素週期律(Periodic Law of the Elements)ノ概略ヲ記シ併セテ其應用ヲ説明スベシ
- 化學實驗問題

- 一、空氣中ニ存在セル酸素窒素兩瓦斯ノ容量ヲ測定シ其結果ヨリ空氣重量成分(Composition by weight)ヲ計算セヨ
- 二、第一第二鐵鹽類ノ鑑識法ヲ示シ又鐵ノ定量法ヲ實驗セヨ
- 三、「アンモニヤ」瓦斯ヲ製シ而シテ其容量「リットル」ノ重量ヲ測定セヨ
- 四、重「クロム」酸「ポタシウム」一定量ヨリ酸化「クロミウム」(Cr_2O_3)幾程ヲ得ベキヤヲ試験セヨ
- 五、強硫酸ノ作用ニ由テ蓆酸ヨリ何ナル物体ヲ得ルヤヲ示シ又得タル所ノ瓦斯体一容量ヲ取り其成分ヲ測定セヨ
- 六、「クロル」酸「ポタシウム」一定量ヲ取り之ヲ分解シテ幾程

ノ鹽化「ボタシウム」ヲ生シ又容量幾程ノ酸素瓦斯ヲ得ルヤヲ試験シ其重量ヲ計算スベシ

化學授業法問題

舊式化學ニヨレバ水ハHO、硝酸ハHO、NO₅ナルガ何ナル理由アツテ之ヲH₂O、HNO₃ニ變ジタルヤ充分ニ説明スベシ

明治廿一年

化學設題

一 茲ニ揮發性ノ有機液体アリ之ヲ分析シテ左ノ結果ヲ得

炭素 四〇、〇〇
水素 六、七〇

酸素 五三、三〇

其蒸氣密度ヲ測定セシニ空氣ヨリ重キ一、二、〇七倍ナリ

右有機体ノ分子式ヲ計算シ而シテ其式ニ符合セル二個ノ物体ノ重要ナル性質ヲ記セ

二 攝氏零度氣壓七十六「センチメートル」ニ於ケル酸化炭

素瓦斯一〇C.Cト同温同壓ニ於ケル酸素瓦斯一〇C.Cトヲ混合シ之ヲ「ユチオメートル」ニ入レテ越歴ノ火花ヲ

通ズレバ如何ナル結果ヲ得ルヤ

三 燃燒後容量百分中ノ成分ヲ計算セヨ

磷酸鹽并ニ砒酸鹽ノ相似タル諸點ヲ擧ゲ而シテ甲ヲ乙ヨリ識別分離スルニハ如何ナル法ニヨルヤ

- 四 元素ノ酸化物及シロル化物ノ種類及其各種ノ通性如何
- 五 酢酸エチルト苛性ソーダヲ混シ蒸餾シテ得タル液ニ赤燐ト「ヨード」ヲ加ヘ再之ヲ蒸餾シテ如何ナル物体ヲ得ルヤ又最初蒸餾器中ニ残りクル物ニ硫酸ヲ加ヘ更ニ蒸餾シテ得タル液ニ「アルカリ」ヲ加ヘ中和シ第二鹽化鐵 (Fe_2Cl_6) ノ酸性液ヲ加ヘ沸スレバ如何
- 六 ガス体化合物ノ分子重ト其比重固体元素ノ原子重ト其比熱、及固体化合物ノ成分ト結晶形トノ關係及其關係ノ應用如何

化學實驗問題

- 第一 水蒸氣「リットル」ノ重量ヲ測定セヨ

- 第二 第二酸化銅 (CuO) ヲ以テ銅ノ當適量ヲ測定セヨ
- 第三 「ソシウム」「ポタシウム」「リシウム」及「アンモニウム」ノ化合物ハ何等ノ方法ニ賴テ之ヲ檢出シ又之ヲ分別スベキヤ
- 第四 第一酸化窒素 (N_2O) ヲ製シ其比重ヲ測定セヨ
- 第五 呼出氣ノ一定容量ヲ取りテ其中ニ存在セル窒素、酸素、炭酸、三瓦斯ノ重量ヲ測定セヨ
- 第六 爰ニ通常賣品ノ硫酸アリ其長否并ニ其液中ニ存在セル純硫酸ノ量ハ何等ノ方法ヲ以テ之ヲ知り得ベキヤ
- 第七 エーテルノ蒸氣比重ヲ測定セヨ

授業法

無機物有機ヲ問ハス同一ノ成分ヲ有シテ甚ダ異ナル性質
ヲ備フルモノ夥多アリ其由テ起ル原因ヲ説キ且ツ二個ノ
同成分異性体ヲ區別スベキ種々ノ方法ヲ説明セヨ

分析

硝酸カリウム

鹽化バリウム

硝酸ピスマス

硫酸カドミウム

炭酸カリウム

磷酸ハシウム

鹽化ニツケル

第一硝酸汞

右鹽類ノ水液ヨリ鹽基并ニ酸ヲ檢出セシム

明治二十年

農業

設問課

一、土地ノ生産力ハ何等ノ事情ニヨリテ異ナルカヲ詳述セ

ヨ

二、完全ナル犁ノ構造及其各部ノ作用ヲ説ケ

三、過磷酸石灰製造法如何其適スベキ作物及其每反歩用量

ヲ問フ

四、稻ノ収獲乾燥并ニ撰種法如何

五、接木ノ法ニ何種アリヤ各種ノ得失ヲ論ゼヨ

六、牛ヲ肥滿セシムルニ要スベキ注意如何

七、各種ノ農法システム、オブ、フアイミンダヲ適用スベキ情况ニ就キテ經濟上其利

害ヲ辨スベシ

授業法課

(一) 岩石ノ化シテ土壤トナル順序ヲ説クニハ如何スベキ

(二) 作物通論ト各論トハ何レヲ先ニシ何レヲ後ニスベキ
ヤ詳ニ其理由ヲ述ヨ

實地課

- 一 犂、靱軸、万石簾等
- 一 骨粉、干鰓、油糟、石膏等
- 一 土壤
- 一 米、麥、菜蔬等
- 一 牛、馬、羊、豚等
- 一 害蟲、有効蟲鳥等

右實物ニ就テ問ヲ設ク

明治二十一年

農業

設問

- 一 表土ト心土ノ理學的性狀及化學的組成ニ於テ相異ナル主要ノ點ヲ舉ゲヨ
- 二 排水ハ器具ヲ以テ深ク耕スト同様ノ作用ヲナスモノナルヲ論シ之ヨリ生スル所ノ效能ヲ詳説セヨ
- 三 禾穀類、蔬菜類ヲ收穫スル適辰ハ何ヲ以テトスベキヤ
- 四 過磷酸石灰トハ何カ此物ト未製品(碎骨、骨粉等)トノ得失ヲ問フ
- 五 養蠶及桑樹栽培ノ順序ヲ略述セヨ
- 六 畜類ノ糞尿ニ品質ノ相異アルハ何故ナルヤ其理由ノ

一部ハ動物生理上ノ相異ニ因ルヲ詳論セヨ
七 我國ノ馬種ヲ改良スルニ最簡便且最有効ナル方法ヲ

問フ

八 剪枝ブレイミングハ如何ナル場合ニ施スベキカ苹果、巴旦杏ニハ如

何ナル装樹トレイミングノ形ヲ善シトスルヤ

九 土地ノ評價法ハ如何并ニ大農小農ノ利害得失ヲ略論

セヨ

授業法

一 耕勸宜キヲ得ルトキハ何故ニ土地ヲ肥沃ニスルヤヲ

詳明スベシ

一 磷酸、剝多斯、窒素ハ肥料成分中ノ最モ貴重ナルモノナ

リ今之ヲ説明スルニハ如何スベキヤ

實地

實地ハ耕種、養畜、樹木栽培、農家理財ニ就キ適宜口頭ヲ以テ

答ヘシム

明治二十年

習字試験題

淵明歸去潯陽典。杖藜蒲屨巾一幅。陰陰老樹嘯黃鸝。艷艷東籬
粲霜菊。世紛無盡過眼空。生事不豐隨意足。廟堂之姿老蓬華。環
堵蕭條僅容膝。大兒頑鈍懶詩書。小兒嬌癡愛梨栗。老妻日暮荷
鋤歸。欣然一笑共蠲室。哦詩未遣愁肝腎。醉裡呼兒供紙筆。時時
得句輒寫之。五言平淡用一律。田家酒熟夜打門。頭上自有漉酒
巾。老農時問桑麻長。提壺挈榼來相親。一樽徑醉北窗臥。蕭然自

謂義皇人。此公聞道窮亦樂。容貌不枯似丹渥。儒林紛紛隨溷濁。山林高義久寂寞。假令九原今可作。舉公蓋與也不惡。

右ハ半紙半枚十行二十字ノ割ヲ以テ楷行草ノ三體ヲ以テ各體半枚宛書スヘシ

守鐵石之深衷勵松筠之雅操

右ハ半紙一枚十二字ノ割ヲ以テ楷行草三體ヲ以テ各體一枚宛書スヘシ

明治二十一年

習字試驗題

又如醴醢之品醬醢之制及時月而收藏謹餅罌之固濟乃衆力而收鑽極百端窺顛至於大哉肥牲嘉穀美味蓋藏稍露於罅隙

守者或時而假寐纔少怠於防嚴已輒遺其種類莫不養息蕃滋淋漓敗壞使親朋卒至索爾以無歡滅獲懷憂因之而得罪此其爲害者三也是皆大者餘悉難名嗚呼止棘之詩垂之六經於此見詩人之博物比與之爲精宜乎以爾刺讒人之乱誠可嫉而可憎

右ハ半紙半枚十行廿字ノ割ヲ以テ楷行草ノ三體ヲ以テ各體半枚宛書スヘシ

竹鑪鼎沸烹茶石澗泉滌滌

右ハ半紙一枚十二字ノ割ヲ以テ楷行草三體ヲ以テ各體一枚宛書スヘシ

明治二十年

圖書學問題

第一 圖書學ヲ普通學科ノ一トシテ教フル目的如何

第二 教授方法 口答

第三 工夫書 壹題

第四 寫生 野菜類壹題

第五 投影書法 壹題

正六角錐體アリ其軸地平面ニ六十度縱面ニ四十度傾ケルキノ平面及正面視圖ヲ需ム但寸法適宜

第六 照鏡書法 壹題

正方形ノ礎上ニ立テル八角柱アリ底面ノ八角ヲ圍繞セル正方形ノ邊ハ礎ト同ク書面ト六十度及三十度ノ角ヲ爲シテ畫者ノ左方ニ立テリ其照鏡圖ヲ需ム但寸

三問印刷ニ附セス

法及畫者ノ位置ハ適宜トス

圖書口頭問題

- (1) 人物ノ顔面ヲ描キ得ヘキ畫稿線ノヲ
- (2) 圖書學用机ノ最モ便宜ナル考按ノヲ
- (3) 圖引具ノ使用法及其實地ノヲ
- (4) 臨本ノ巧拙ヲ撰ム大略ノ規定ノヲ
- (5) 自在畫ヲ教フルニ臨本ヲ附與スル難易順序ノヲ

明治二十一年

圖書

第一問題

照鏡書法

第二問題 口答

製圖器械用法

第三問題

工夫書

第四問題

寫生

第五問題 口答

授業法

說明

○照鏡書法ハ屏風ノ圖ヲ作ラシム
但其位置大小等ハ實物ヲ示シテ詳カニ説明スル等
ナリ

○製圖器械用法ハ各種ノ製圖器ヲ與ヘ實地ニ之ヲ使用
セシメ其巧拙熟否ヲ試ム

○工夫書ハ寸尺ヲ定メタル方形内ニ鋪物ノ模様ヲ作ラ
シム

○寫生ハ石膏製ノ彫像ヲ寫サシム

○授業法ハ授業ニ必用ナル件例ヘハ臨書セシムルニ臨
本ヲ與フル順序如何ト云フノ類十余問ヲ試ミ更ニ初
學ノ畫圖十余枚ヲ示シテ批評鑑定セシム

明治二十年

音樂

設問課

- (1) 音樂ヲ教育上ニ應用スルノ目的如何
 - (2) 長短兩音階ノ性質ヲ問フ
 - (3) 男女音聲ノ區域ハ何音ヨリ何音ニ至リ總テ幾八音ナリヤ
 - (4) 之ヲ四部聲音(高音、中音、次中音及低音)ニ配當スルトキハ各聲音ノ區域如何
 - (5) 別記ノ樂曲ヲ原調ヨリ低キクロマチックセミトシ半音階的半音ナル調ニ移シテ記譜スヘシ
- 授業法課
- (1) 尋常師範學校生徒ニ始メテ唱歌ヲ教授スルトキノ順序及方法ヲ詳記スヘシ
- 實地課

- 第一唱歌
- (1) 音階
 - (2) 唱歌集第一曲ヨリ第十二曲迄(數字及歌詞ヲ用テ)
 - (3) 同 第廿七曲(數字ヲ用テ)
 - (4) 同 第卅八曲(歌詞ヲ用テ)
 - (5) 同 第七十四曲(數字及歌詞ヲ用テ)
- 第二樂器
- (1) 唱歌集若クハ教則本ニ就テ相當ノモノヲ彈セシム

明治二十一年

音樂

設問課

- 一 音樂ト教育トノ關係ヲ問フ
- 二 音樂上ノ四聲音及ビ其中間音ノ名稱ヲ次チ逐テ列記シ仍ホ其音域ヲ五線上ニ記スベシ
- 三 音樂上ニ用フル修飾音ノ主要ナルモノハ何々ナリヤ
- 四 聲變期ノ男女ニ唱歌ヲ授クルニ方リ注意スベキノ件ハ何々ナリヤ
- 五 別記ノ曲例(短調旋律)ヲ熟閱シテ其調號ニ合メル嬰若クハ變ノ個數ヲ發見スベシ

授業法課

- 一 左ノ二項ヲ詳述スベシ
 - (イ) 單音唱歌ヲ授クルトキノ順序方法
 - (ロ) 複音唱歌ヲ授クルトキノ順序方法

實地課

第一 唱歌

- 一 音階(長及ビ短)
 - 二 唱歌集第一曲ヨリ十二曲迄(數字及ビ歌詞ヲ用テ)
 - 三 同 第四十一曲(數字ヲ用テ)
 - 四 同 第七十八曲(歌詞ヲ用テ)
 - 五 同 第八拾四曲(數字及歌詞ヲ用テ)
 - 六 新曲(大凡八小節)
- 第二 樂器
- 一 唱歌集若クハ教則本ニ就テ相當ノモノヲ彈セシム

普通体操科問題

- 第一 普通体操及兵式体操ノ目的ヲ問フ
 - 第二 運動ノ人身ニ必用ナル理由ヲ舉ケヨ
 - 第三 体操ヲ課スベキ年齢及其理由ヲ舉ケヨ
 - 第四 靱帯ノ所在及効用
 - 第五 血液ノ効用
 - 第六 肋骨ノ用
 - 第七 皮膚ノ効用
- 實地問題
- 第一 徒手体操
 - 第二 啞鈴体操
 - 第三 球竿体操

- 第四 棍棒体操
- 第五 木環体操

授業法問題

一人ツ、交番教師位置ニ立チ他ノ受験者ヲ生徒トナシ之ニ体操ヲ教授セシム

明治二十一年

普通体操科

- 第一 体操教師ノ最モ注意スベキ箇條ヲ舉ゲヨ
- 第二 運動ノ效驗
- 第三 運動ニ由リテ体温ノ増進スル理由
- 第四 呼吸装置ノ用

- 第五 脊柱彎曲ノ效用
 - 第六 營養管ノ區分及ヒ各部ノ作用
 - 第七 排泄作用ヲ營ム所ノ機器
- 以上七問

明治二十年

兵式体操科設問

歩兵科 中隊ノ部

- 第一 中隊操典ノ區分如何
- 第二 橫隊ノ整頓法如何
- 第三 縱隊中隊停止間ノ方向變換ニ於テ直レノ號令ヲ下セシ後嚮道ノ位置如何

第四 半隊縱隊ヲ以テ騎兵ニ向ヒ縱隊ヲ作ル方如何

野外戰術

- 第五 旅團ノ前哨ニ於テ各線ノ距離間隔如何且此距離間隔ハ如何ナル地況ト時機ニ從ヒ變更スルヤ
- 第六 休止護衛ノ方ヲ取ラシムベキ時機及ビ死備法如何
- 第七 奇襲ニ最モ適切ナル時機如何
- 射的學
- 第八 彈道ヲシテ無限ノ變化ヲ起サシムル元因ハ如何
- 第九 照準機ノ度線ヲ鐫記スル法如何
- 第十 手銃ノ動搖ヲ減スル法如何

明治三十一年

兵式躰操科

- 一 守勢ノ利害如何
 - 二 孤立中隊森林防禦ニテリテ偵察スベキ要件如何
 - 三 歩哨配置ニ適スル地形如何
 - 四 孤立大隊ノ前衛中隊ニアリテ梯隊ノ區分法并ニ各梯隊間ノ距離如何
 - 五 數多ノ人員ヲ狹少ノ村落ニ宿泊セシムルノ處置如何
- 以上五問題四時間

明治二十年
TRANSLATION.

ENGLISH INTO JAPANESE.

1. John Bull, to all appearance, is a plain, downright matter-of-fact fellow, will much less of poetry about him than rich prose.

2. He is a boon-companion, if you allow to have his own way, and to talk about himself, and he will stand by a friend in a quarrel, with life and purse, however soundly he may be cudgelled.

3. To tell the truth, he cannot hear of a quarrel between the most distant of his neighbors, but he begins incontinently to fumble with the head of his cudgel, and consider whether his interest or honor does not require that he should meddle in the broil.

4. He is given to indulge his veneration for family usages, and family incumbrances, to a whimsical extent. His manor is infested by gangs of gypsies; yet he will not suffer them to be driven off, because they have infested the place time out of mind, and been regular poachers upon every generation of the family.

JAPANESE INTO ENGLISH.

Joshi Shokugyō Gakkō.—Konogoro Hattori Ichizō shi ga kōchō to narite Kanda, Nishiki chō 2 chōme ni hyodai no gotoki gakkō wo okosaretari. Chikagoro sejin ga joshi no koto ni ōi ni kokoro wo mochii-hajime, kore made sude ni aru mono ni mo kairyō wo kuwaetaru mo ari, mata arata ni mōken to suru mo aru yoshi nari. Koko ni kakaretaru gakkō wa joshi ni shokugyō wo oshie, hito no tsuma to narite wa kaji wo seiri suru ni sashitsukae naku, mata ippon-dachi nite kuraseba mizukara seikei wo itonamu ni tarashimuru wo motte mokuteki to suru ga gotoshi. Makoto ni kekkōnaru gakkō nari. Nyūgaku suru joshi wa sadamete jūbun naru kekka wo uru naran.

明治二十年

ORAL TRANSLATION.

"A merry christmas, uncle! God save you!" cried cheerful voice. "Bah!" said scrooge, "humbug," "Christmas a humbug uncle! you dont mean that, I am sure". "I do. Out upon merry Christmas! Whats' Christmas time to you but a time for paying fils without money, a time for finding yourself a year older, and not an hour richer; a time for balancing

your books and having every item in 'em through a round dozen of months presented dead against you? If I had my vill, every idiot who goes about with merry christmas' on his hops should be boiled loith his oun hudding, and burild with a stake of holly through his hlart. He should!" "Uncle!" "Nephew, kich christmas in your own wag, and let me keep if in mine," "keep it! But you dort keep it." "Set me leave it alone, then. Much good may it do you you! Much good it has ever done you!"

明治二十一年

LIFE OF CHARLES DICKENS.

(Abridged from Ward and Lock's Biographical Series.)

"Whatever I have tried to do in life, I have tried with all my heart to do well. What I have devoted myself to, I have devoted myself to completely. Never to put one hand to anything on which I could throw my whole self, and never to affect depreciation of my work whatever it was, I find now to have been my golden rules." Thus, speaking in the person of genial David Copperfield, in whose

(4)

“Personal history and experience much is contained that happened, to the author himself, does the most popular writer of fiction of the present or perhaps any century sum up the product of his experience, concentrating into a few words the lesson of his life.”

明治二十一年

TRADUCTION ÉCRITE EN JAPONAIS.

Calypso écontait avec étonnement des paroles si sages de Télémaque. Ce qui la charmait le plus était de voir que Télémaque racontait ingenuement les fautes qu'il avait faites par précipitation, et en manquant de docilité pour le sage Mentor : elle trouvait une noblesse et une grandeur étonnante dans ce jeune homme qui s'accusait lui-même, et qui paraissait avoir si bien profité de ses imprudences pour se rendre sage, prévoyant et modéré.

EXAMEN ORAL.

DU DÉVOUEMENT À

LA PATRIE.

Aucun labeur ne doit vous sembler lourd pour

(5)

sauver le pays qui vous soutient et vous nourrit entre les vivantes, et vous resoit en sépulture entre les morts. Aussi est-on forcé de dire que ceux-là sont dénaturés, qui, au besoin et pour le salut de leur pays, ne font pas effort de tout leur pouvoir, mais aiment mieux se laisser périr avec la chose publique que s'exposer pour elle au péril, ce pourrait donc sembler que la loi de la nature serait plus parfaitement accomplie chez les bêtes que chez nous autres, et que vous seriez trouvés plus dénaturés qu'elles, qui n'ont ni entendement ni raison, quand on voit les oiseaux défendre leurs nids avec le bec et les ailes, les ours et les lions garder leurs cavernes à la force de leurs griffes et de leurs dents.

明治二十一年

和文佛譯ノ部 (英獨ニモ用ユ)

西藏人ト英人トノ戦争

一千八百八十八年三月二十二日印度カルクッタ發

ノ報ニ據ルニ英將グラハム大佐ハ歐州兵百名土兵百

名ヲ將キテ同月廿日セルチサノ西藏人ヲ進撃シ七八

(6)

ヲ殺シ數人ヲ傷ケリ西藏人ハ天幕其他ノ什器ヲ打捨
 テ敗走シ或ハ荆棘ノ中ニ逃ケ込ニシモノアリ或ハリ
 ソツ(地名)ヘ向ケ走リシモノアリ英軍ノ死傷ハ唯々
 將官一名士兵一名輕傷ヲ蒙リシノミ是ヨリ先同月十
 八日グラハム大佐ハポール氏ト共ニ効行ニ出デ、地
 理ヲ候フ内不意ニ道ヲ横ギツテ結ビ構ヘタル柵ノ中
 ヲリ發砲セラレタリシガ幸ニ無難ナリシト云フ

明治二十年

算術設問

(答紙ニハ答數ノミナラズ演算及其
 理由ヲ掲グルヲ要ス)

1. 分數ノ割リ算ノ法則ノ理由ヲ詳記セヨ
2. 2476190 ト $.13461538$ ノ積ヲ求ム
3. 余若シ年齢百歳ノ時ニ死スヘキモノナラバ余ガ
 現今ノ年齢ハ今ヨリ余ガ死ニ至ルマデノ年數ノ
 十七分ノ八ニ等シ余ガ現今ノ年齢幾何ゾ
4. 各邊ノ長サ一町ツ、ノ正三角形ノ周圍ヲ同シ方

(7)

向ニ歩行スル甲乙二人アリ一分時間ニ甲ハ六十
 五間乙ハ五十間ヲ歩ム今甲一頂點ニアルトキ乙
 ハ其後ノ頂點ニアルトスレバ何分時間ノ後始メ
 テ甲乙兩人共ニ同一邊ニ在リヤ又何レノ邊ナリ
 ヤ

5. 開平法ニ於テ最初數字ヲ二桁ツ、ニ切ル理由ヲ
 詳記セヨ

同口答試験問題

- (1) 連除法ニテ二數ノ最大公約數ヲ見出ス方法
 右ノ題ニテ生徒ニ授業スル様ニ問タリ

明治二十一年

算術設問

(二、三、四ノ問題ハ其理由ヲ詳記シ五ノ
 問題ハ演算ヲ記スルヲ要ス)

- 一 某二數ニ各別ニ除セラルベキ數ハ如何ナル場合
 ニ於テ又其相乘積ニテ除セラルベキヤ

二 小數(循環小數 = アラザルモノ)ニ化シ得ベキ分數ノ特性如何

三 甲乙丙丁四人ノ職工アリ甲ノ一日ノ賃錢ハ二十六錢乙ハ二十錢丙ハ三十二錢丁ハ十六錢ナリ或時此四人各數日間働キテ同額ノ金ヲ得タリ但此金高ハ三十圓ヲ超エスト云フ各職工幾日ツ、働キシヤ

四 或ル城内ニ士官ト兵卒ト合セテ六百人婦人二百一人小兒百二十人アリテ糧米五十五石五斗八升アリ婦人一人ニハ兵士一人ノ三分ノ二ノ食料ヲ給シ小兒一人ニハ婦人一人ノ四分ノ三ノ食糧ヲ給スルキハ以テ十日間ヲ支ユベシ然ルニ六日目ノ夜ニマギレテ三人ノ士官兵卒二百人ヲ引卒シ婦人小兒ヲ護衛シテ城ヲ抜ケ出テタリ残りノ士官兵卒ハ之ニ由テ尙ホ何日ヲ支ユベキヤ

五 157551496201 ノ立方根ヲ求ム

明治二十年

代 數 設 問

(1) 次ノ三ツノ方程式ヲ解ケ

$$(x+y)(x+y+z) = 98$$

$$(y+z)(x+y+z) = 140$$

$$(z+x)(x+y+z) = 154$$

(2) $\sqrt{10 + 2\sqrt{21}}$ ナ改メテ二箇ノ整數ノ二乗根ノ和ノ形ニセヨ

(3) A B 二箇ノ蠟燭アリ A B ノ距離ハ六尺ニシテ A ノ光度ハ B ノ光度ノ四倍ニ等シトイフ. 今 AB ナ繋キ合ハス所ノ直線ノ上如何ナル處ニ障子ヲ置カバ此障子ノ AB ヨリ受ル所ノ光ノ量互ニ相等シカルベキ乎. 尤モ此障子ノ各蠟燭ヨリ受ル所ノ光ノ量ハ蠟燭ノ光度ト順比例ヲナシ蠟燭ト障子トノ距離ノ二乗ト逆比例ヲナス

(4) 二數 AB ノ間ノ等差中數 (arithmetical mean), 等比中數 (geometrical mean), 及ビ調和中數 (harmonic mean)

nic mean),ハ等比級數ヲ成ストイフ. 之ヲ證明セヨ

- (5) 二項法ノ證明ヲ要ス. 但シ指數正號整數ナル場合ニ限ルベシ

代數授業法問題

$Ax^2 + Bx + C = 0$ ナル方程式ノ解キ方及ヒ根ノ實ナル, 虛ナル, 或ハ相等シキ場合ニ於ケル ABC ノ關係ヲ教フル方法及ヒ順序ヲ詳記セヨ

代數口答問題

- (1) 方程式ノ根トハ何ゾ
- (2) 方程式ニ幾何ノ根アリヤ
- (3) 三項式 $x^2 + ax + b$ ナ二箇ノ二項式ノ積ニ直ス方法

明治二十一年

代數學設問

- (1) 指數ノ定律 (index law) トハ何ゾヤ.

此定律ヲ應用シテ次ノ掛算ヲナセ

$(a^{\frac{2}{3}} - a^{\frac{1}{3}} + 1 - a^{-\frac{1}{3}} + a^{-\frac{2}{3}}) \times (a^{\frac{1}{3}} + 1 + a^{-\frac{1}{3}})$

- (2) x 及ビ常數ヨリ成レル整多項式 M 中ニ於テ x^3 ナ8トスルトキ M 零トナラバ, M ハ必ズ $x^2 + 2x + 4$ ニテ整除セルラベシ; 之ヲ證明セヨ

- (3) m 個ノ物ヲ n 個ツ、取リテ作りタル組合セ (combinations) ノ數ハ m 個ノ物ヲ $m-n$ 個ツ、取リテ作りタル組合セノ數ニ等シキコトヲ證セヨ

- (4) 次ノ方程式ヲ解ケ

$x^2 - 24 = 7x - \sqrt{x^2 - 7x + 18}$

- (5) 甲乙丙ノ三工アリ甲乙二人ニテ一事業ヲ爲セバ c 日ニ終リ乙丙二人ハ a 日ニ終リ丙甲二人ハ b 日ニ終ルト云フ各々別ニ働カバ何日ヲ要スベキヤ

但シ此問題ノ答數ハ常ニ正數ナルコトヲ證セヨ

代數學業授法問題

二次三項式ノ値ノ變化ヲ説明スルノ方法及ビ順序ヲ
詳記セヨ

但シ兩根ノ相等シカラザル場合ノミニ就キテ説明
セヨ

明治二十年

幾何學設問

1. 三角形ノ三角ノ和ハ二直角ニ等シキヲ証セヨ
2. 三角形ノ三中線(median line)ハ同一点ニ會スル
ヲ証セヨ
3. 圓外ノ一点 A ヨリ之ニ割線 APQ ヲ引キ圓ト P
及ビ Q ニ於テ交ハラシメ又 A ヨリ切線 AT ヲ
引キ圓ニ T ニ於テ接觸セシム然ルキハ AT ノ
上ニ畫キタル正方形ノ面積ハ AP, AQ ヲ邊トセ
ル矩形ノ面積ニ等シ之ヲ証明セヨ
4. 平面外ノ一点ヨリ之ニ垂直線 AB ヲ引キ其趾點
B ヨリ平面上ノ或ル直線 MN ニ垂直線 BC ヲ引
キ其趾點 C ヲ A ニ結び付クル直線ハ MN ニ垂

直ナリ之ヲ証セヨ

5. 同焦點ヲ有スル橢圓及ビ雙曲線ハ直角ニ相交ハ
ルコトヲ証セヨ

幾何授業法設問

1. 軌跡ノ性質ヲ説明スル方法
2. 幾何學上比及比例ノ何モノナルヲ説スル方法

明治二十一年

幾何學設問

- (1) 三角形ノ或ル内角ノ折半線ハ此角ノ對邊ヲ自余
ニ邊ニ比例スル如ク分割ス之ヲ証セヨ
- (2) 已定ノ二點ヲ通過シ已定ノ圓周ニ觸ル、圓周ヲ
畫クノ方法及ビ其理由ヲ詳記セヨ
- (3) 同一平面内ニアラザル二直線ニ共通ナル垂線ヲ
作り得ベク且ツ唯一箇ノ垂線ノ外作り得ベカラ
ズ之ヲ証セヨ
- (4) 球ノ半徑ヲ測定スルノ方法及ビ其理由ヲ詳記セ

- ヨ
- (5) 雙曲線ノ焦點ノ其諸觸線上ニ於ケル投影ノ軌跡ハ通軸ヲ直徑トシテ畫キタル圓周ナルコトヲ證セヨ

明治二十年

三角法設問

{ 答紙ニハ答數ノミナラズ演算及ビ其理由ヲ掲グルヲ要ス }

1. $\frac{\sqrt{3}}{2}$ ナ其餘弦ノ値トスル所ノ凡テノ角ノ綜約式ヲ求ム
2. $\sin x + \sin 2x + \sin 3x = 1 + \cos x + \cos 2x$ ナル方程式ニ適スル x ノ値ノ π ヨリ小ナルモノヲ算出セヨ
3. $1 + \sin a$ ナル和ヲ乘積ニ變セヨ
4. $a + \beta + \gamma + \pi$ ナルトキ次ノ關係アルコトヲ證セヨ
- $$\tan a + \tan \beta + \tan \gamma = \tan a \tan \beta \tan \gamma$$

5. a, b, c , 三角形ノ三邊トシ A, B, C ナ其各邊ニ對スル角トスレバ各角ノ銳ナルト鈍ナルトニ拘ハラズ次ノ關係アルコトヲ證セヨ

$$a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$$

$$b^2 = c^2 + a^2 - 2ca \cos B$$

$$c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos C$$

三角法應用問題

{ 答紙ニハ答數ノミナラズ演算及ビ其理由ヲ掲グルヲ要ス }

或ル三角形ノ三邊 a, b, c ノ長サ次ノ如クナリト云フ

$$a = 378,02 \text{ 尺} \quad b = 220,59 \text{ 尺} \quad c = 198,54 \text{ 尺}$$

此三角形ノ三ツノ角 A, B, C , ト其面積 S ト此三角形ニ内切セル圓ノ半径 r トヲ計算セヨ

明治二十一年

三角學設問

- (1) 次ノ二式ノ間ニ θ ナ消去セヨ
- $$\sin^2 \theta - p \sin \theta + 1 = 0$$

(16)

$$\cos^2 \theta - b \cos \theta + 1 = 0$$

(2) 若し $A+B+C=180^\circ$ ナレバ次ノ關係アルコトヲ
證セヨ

$$\sin 2A + \sin 2B + \sin 2C = 4 \sin A \sin B \sin C$$

(3) 次ノ式ニ於テ A ナ 60° トスレバ其値如何

$$\frac{\sin(A-60^\circ)}{4\cos^2 A - 1}$$

(4) 或ル人甚タ遠キ距離ニアル所ノ一ノ塔ニ向ヒテ
進ニ途中 A, B, C ノ三點ニ於テ此塔ノ頂點ノ視
線ト水平線トナセル角ヲ測リ $\alpha, \alpha_2, \alpha_3, \alpha$ ナル
コトヲ知レリ之ニヨリテ AB ハ殆ント BC ノ
三倍ナルコトヲ證セヨ

(5) $x^5 + 1 = 0$ ナル方程式ノ五根ヲ要ム

明治二十年

測量科設問

第一 測點ト測角器ノ中心トヲ符合セシムルヲ得ザ
ルキハ測リ得タル角ニ就キ如何ナル改正ヲ爲

(17)

スベキヤ

第二 平坦ナラザル地面ト或平面トノ相截ヲ發見ス
ルノ方法如何

但シ地面ノ高低ヲ實測スルノ方法實測シテ
得タル所ノ結果ニ依リ地ノ高低ヲ表示スル
ノ方法或平面ヲ表示スルノ方法等ヲ詳記ス
ルヲ要ス

第三 複記測角器ノ構造及ビ使用法ヲ詳記スベシ

明治二十一年

測量科設問

第一 測量術 (Tobography) トハ如何ナルモノナルヤ

第二 製圖術ヲ幾部ニ區分スルヤ各部ノ要點ヲ詳記
セヨ

第三 交線法 (實測法ノ一) ノ利害ヲ詳記セヨ

第四 二條ノ水準曲線 (同シ直立ヲ有スル) ナリニ定メ、斜度
ヲ有スル直線ニテ連結スルノ方法如何

第五 直角器ノ種類及ビ其ノ構造ヲ詳記セヨ

明治二十年

解拆幾何學問題

- (1) 代數學上ノ方程式ニ由リテ線或ハ表面ヲ表ハス
ト如何ノ事ナルヤヲ説明セヨ
- (2) $Ax + sq + C = 0$ 及ビ $Ax' + B'y + C' = 0$ ノ交點ヲ
過リ $A''x + B''y + C'' = 0$ ニ直角ナル直線ノ方
程式ヲ得ヨ
- (3) $x^2 + y^2 - 2x + 3y = 0$ ニ接觸シ x ノ軸ト 30° ノ角ヲ
爲ス直線ノ方程式ヲ得ヨ
- (4) 共軛徑トハ如何ナル者ナルヤ橢圓及双曲線ニ於
テ二ツノ共軛徑ノ互ノ位置ノ關係ハ如何
 $g = mx$ ナル直徑ニ共軛ナル徑ノ方程式ハ如何
- (5) 一ツノ焦點ヲ極トシ一ツノ軸ヲ首線トスレバ圓
錐曲線ノ方程式ハ如何
- (6) 双曲線ノ二ツノ漸近線ト一ツノ切線トノ爲ス三
角形ノ面積ハ常數ナルヲ証明セヨ
- (7) 互ニ直角ヲ爲ス拋物線ノ二ツノ切線ノ交點ノ軌

跡ヲ得ヨ

明治二十一年

解拆幾何設問

- 一 $x^2 + 5xy + y^2 + 8x - 20y + 15 = 0$ ノ顯ス曲線ヲ罫紙上
ニ畫キ且ツ演算等ヲ委細ニ記セヨ
- 二 橢圓上ノ一點ニ於テノ切線ニ焦點ヨリ引ケル垂
線ノ長ヲ得ヨ。其式ヨリシテ切線ハ兩焦點
ヨリ切點ニ引ケル直線ト相等シキ角ヲ爲スヲ
証明セヨ。又拋物線ニ於テ之ニ對スル定理ハ
如何
- 三 若シ $S = 0$ ナ二次線ノ式トシ $L = 0$ 及 $M = 0$ ナ
二直線ノ式トセバ

$$S + K, L, M = C$$

(K ハ或常數) ハ如何ナル線ヲ顯スヤ

○附錄

文部省令第二十一號

尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則ヲ定ムルヲ左ノ如シ

明治十九年十二月二十二日

文部大臣森有禮

尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則

第一條 尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許狀ハ高等師範學校卒業生及丁年以上ニシテ文部省ノ檢定ヲ經タルモノヨ之ヲ授與スルモノトス

第二條 高等師範學校ノ男子師範學科卒業生ヨハ尋常師範學校尋常中學校及高等女學校ノ教員免許狀ヲ授與シ

(1)

女子師範學科卒業生ニハ尋常師範學校女子部及高等女學校ノ教員免許狀ヲ授與シ體操專修科卒業生ニハ體操ノ教員免許狀ヲ授與ス

第三條 高等師範學校ノ卒業生ニアラスシテ某學科ノ教員免許狀ヲ得ント欲スル者ハ文部省ノ檢定ヲ受クベシ

第四條 檢定ハ毎年一回文部大臣檢定委員ヲシテ之ヲ執行セシム

第五條 檢定ノ要目左ノ如シ
一學力
一品行
一身體

第六條 學力ノ檢定ハ試驗ニ依ル
但内外國高等學校卒業生等ハ檢定委員ニ於テ教員タルニ適スベキ學力アリト認ルモノニ限リ特ニ本文ノ

例ニ依ラサルコトアルベシ

第七條 試驗ハ尋常師範學校尋常中學校及高等女學校ノ學科中受験者志願ノ學科ニ就テ之ヲ施行シ該學科教員タルニ適スルヤ否ヤヲ判ス

第八條 身體ノ檢定ハ檢査ニ依ル
第九條 檢定ヲ受ケント欲スル者ハ族籍姓名宿所生年月

及志願ノ學科ヲ記シタル願書ニ左ノ書面ヲ添ヘ文部省宛地方廳ニ差出スヘシ北海道長官府縣知事ハ本人ノ品行ニ付意見ヲ付記シテ文部大臣ニ差出スベシ

- 一 學業業務賞罰等ノ履歷ニ係ル書面
- 一 學業證書免狀ノ寫

第十條 檢定ヲ受ケント欲スル者ハ檢定料金貳圓ヲ納ム

但檢定料ハ願書ト共ニ地方廳ニ差出スベシ其既ニ差
出シタル檢定料ハ願下ナシ若クハ試験ニ應セサル
キト雖此之ヲ還付セサルモノトス○明治二十年十月
廿七日追加

第十一條 免許狀ハ分チテ一等二等三等トシ初メテ授與
スル免許狀ハ三等トス又第六條但書ニ依リ授與スル免
許狀ハ無等トス其既ニ得タル免許狀ヨリ高等ノモノヲ
得ント欲スルモノ及無等免許狀ヲ有スルモノニシテ相
當ノ有等免許狀ヲ得ント欲スルモノハ更ニ檢定ヲ受ク
ルニ

但一等免許狀ハ二等免許狀ヲ有シ五箇年以上二等免

許狀ハ三等免許狀ヲ有シ二箇年以上教職ニ從事シ其
性格能幹超衆ノモノニ限リ授與スルモノトス

第十二條 免許狀ヲ受クルモノハ高等師範學校卒業生ヲ
除クノ外免許料金壹圓ヲ納ムベシ

第十三條 免許狀ヲ毀損亡失シ若クハ姓名ヲ變更シタル
カ爲メ其書換ヲ請フモノハ書換料金壹圓ヲ納ムベシ

第十四條 左ノ一項若クハ數項ニ觸ル、者コハ免許狀ヲ
授與セズ又既ニ授與シタルモノト雖此之ヲ沒收ス

- 一 但特別ノ事情アル者ハ本文ノ例ニ依ラザルコトアルヘシ
- 一 新法ニ依リ輕重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若クハ信
用又ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラ
レ若クハ監視ニ付セラレタルモノ

但信用又ハ風俗ヲ害スル罪ニアラサルモノヲ犯シ罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ輕禁錮ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限リニアラス

一 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

一 身代限ノ處分ヲ受ケ未ダ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

一 荒酌暴激等總テ教員タルノ面目ニ關スル所行アル者

一 舊法ニ依リ懲役若クハ禁獄若クハ鎖錮ノ刑ニ處セラレタルモノ

但贖金罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ本文ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限リニアラス

一 前項ノ刑ニ處セラレ存留養親老少廢疾婦女等ノ故

ナリテ收贖ヲ許サレタルモノ

ナリテ收贖ヲ許サレタルモノ

第十五條 前條ノ處分ヲ要スル者アルトキハ北海道廳長
官府縣知事ヨリ文部大臣ニ具申スルハシ

免許狀様式

何等免許狀(第六條但書ニ依リ授與スルモノハ等ヲ付セス)

族籍

姓名

生年月

右何學校(何科)教員タルコトヲ免許ス

年 文部
月 省印
日

文部大臣位勳爵姓名印

割印 番 號

輪廓ハ高等師範學校卒業生ニ授與スルモノハ紅色トシ第六條ニ依リ授與スル者ハ綠色トシ第六條但書ニ據リ授與スルモノハ藍色トス

文部省令第二十二號

文部省令第二十一號尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則發令前文部省ニ於テ授與シタル中學校師範學校教員免許狀及ヒ東京師範學校ニ於テ授與シタル中學校教員免許狀ハ尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許狀ト同一ノ效チ有スルモノトス

明治十九年十二月廿二日

文部大臣森有禮

明治二十一年

尋常師範學校
尋常中學校
高等女學校

教員學力檢定試驗出願者心得

- 一 試驗出願者ハ姓名簿へ其族籍姓名宿所及ヒ生年月ヲ記載スベシ但宿所ヲ變更セシキハ其旨届出ツベシ
- 一 各學科試驗時日ハ別ニ通知セザルニ付各自試驗日割表ニ就キテ處置スベシ
- 一 試驗當日ハ定期前ニ試驗場ニ出頭シテ掛員ニ届出ツベシ
- 一 試驗ノ爲メ要スル所ノ筆紙墨其他ノ諸器具ハ試驗場ニ備ヒ置クニツキ各自携帶シテ入場スルヲ許サズ
- 一 書籍書類等ヲ携帶シテ入場スルヲ許サズ
- 一 試驗問題ノ意義ハ質問スルヲ許サズ
- 一 答書ハ明瞭ニ記載スルヲ要ス且ツ用紙一葉ニ付一問ノ答書ヲ限リ記載スベシ尤モ一葉ニ書キ盡スヲ能ハザル

者ハ數葉ヲ用ユルモ妨ナシ
 一 答者ハ幾葉ニ亘ルトモ一葉毎ニ必ス姓名ヲ記載スベシ
 且ツ其順序ヲ紊サズ一綴ニスベシ
 但横文ノ答書ハ用紙ノ表面ニノミ記載スベシ
 一 試験場ニ於テハ總テ臨場吏員ノ指揮ニ從フベシ若シ不
 都合ノ所爲アル者ハ退場ヲ命ズ
 一 倫理數學教育物理ノ四科ニ於テ數回ニ涉リ試験ヲ行フ
 ニハ前回ノ試験ニ落第スル者ハ次回ノ試験ヲ受ルヲ得
 得ザル者トス故ニ次回ノ試験前ハ先ツ掛員ニ就テ前回試
 験ノ成績ヲ問合セ次回ノ試験ヲ受ルヲ得ルヤ否ヤヲ
 承知スベシ
 以上

版權登錄

明治二十一年七月十二日印刷

明治二十一年七月十八日出版

定價金三十五錢

編纂者兼
發行者

日下部三之介

東京日本橋區本町二丁目
三番地

印刷者

淺香恒

東京日本橋區本町二丁目
三番地



版權所有

東京教育

東京日本橋區本町二丁目
三番地



發兌所

大成館

東京日本橋區本銀町三丁目
十番地

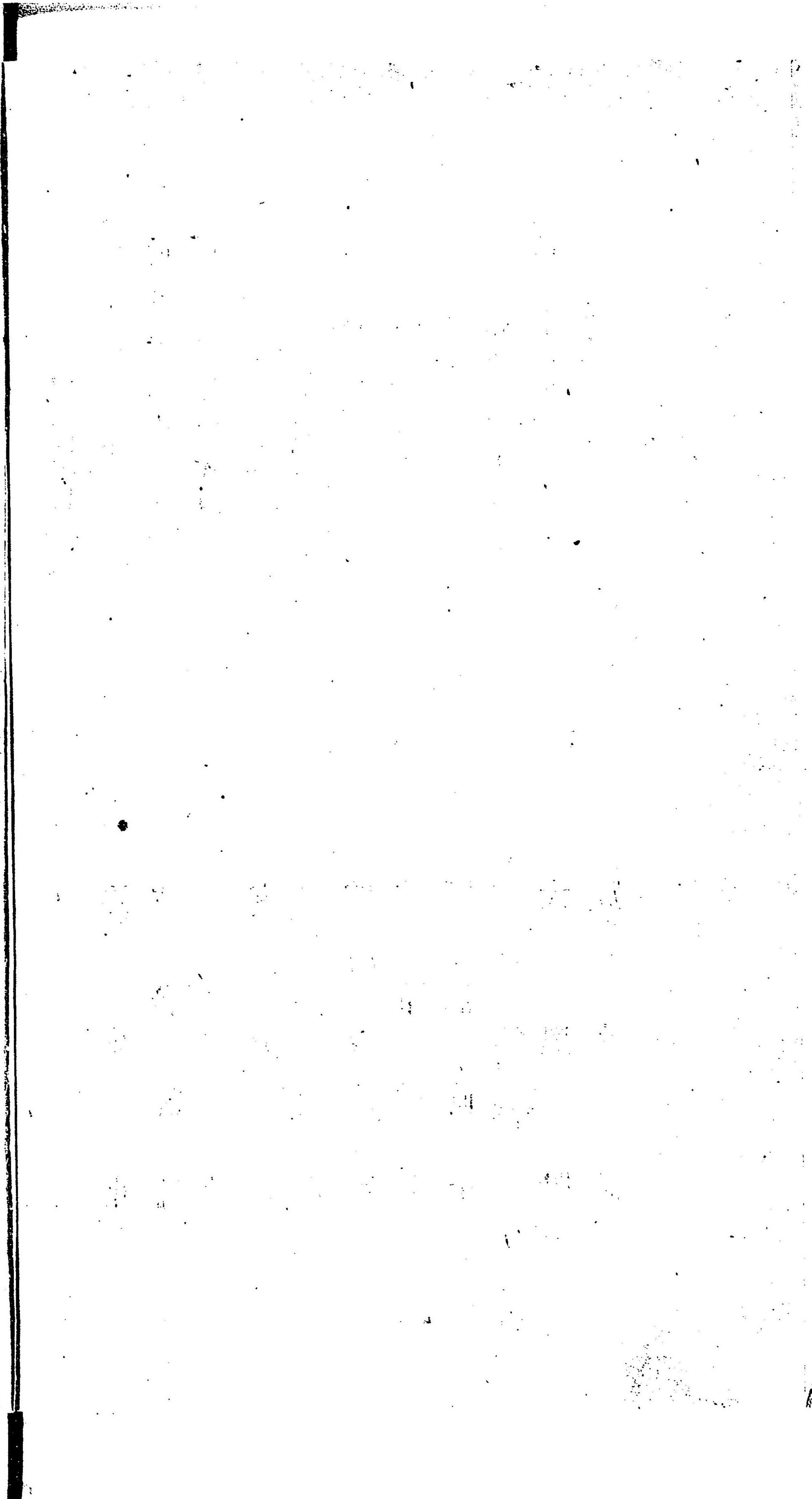
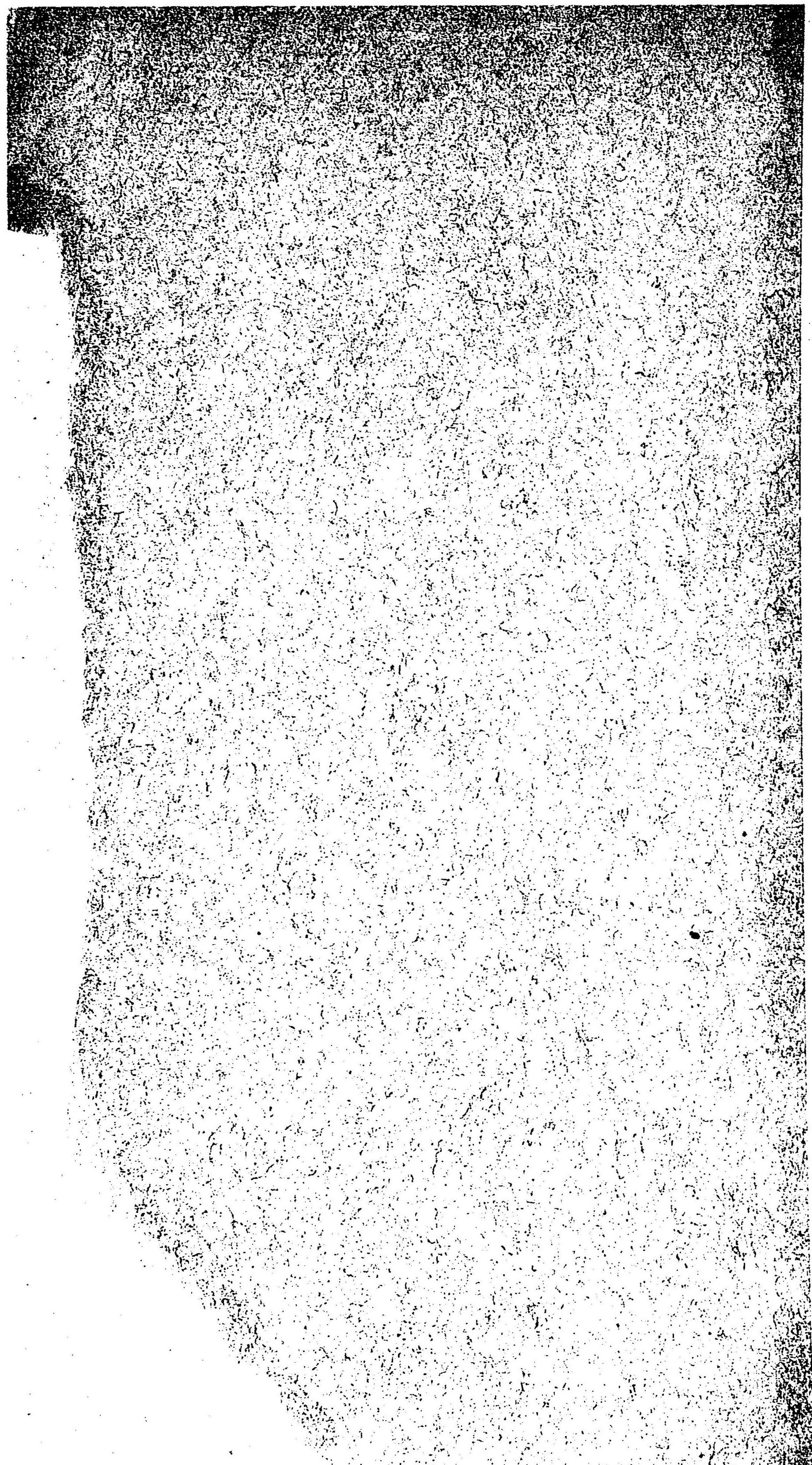
大賣捌所

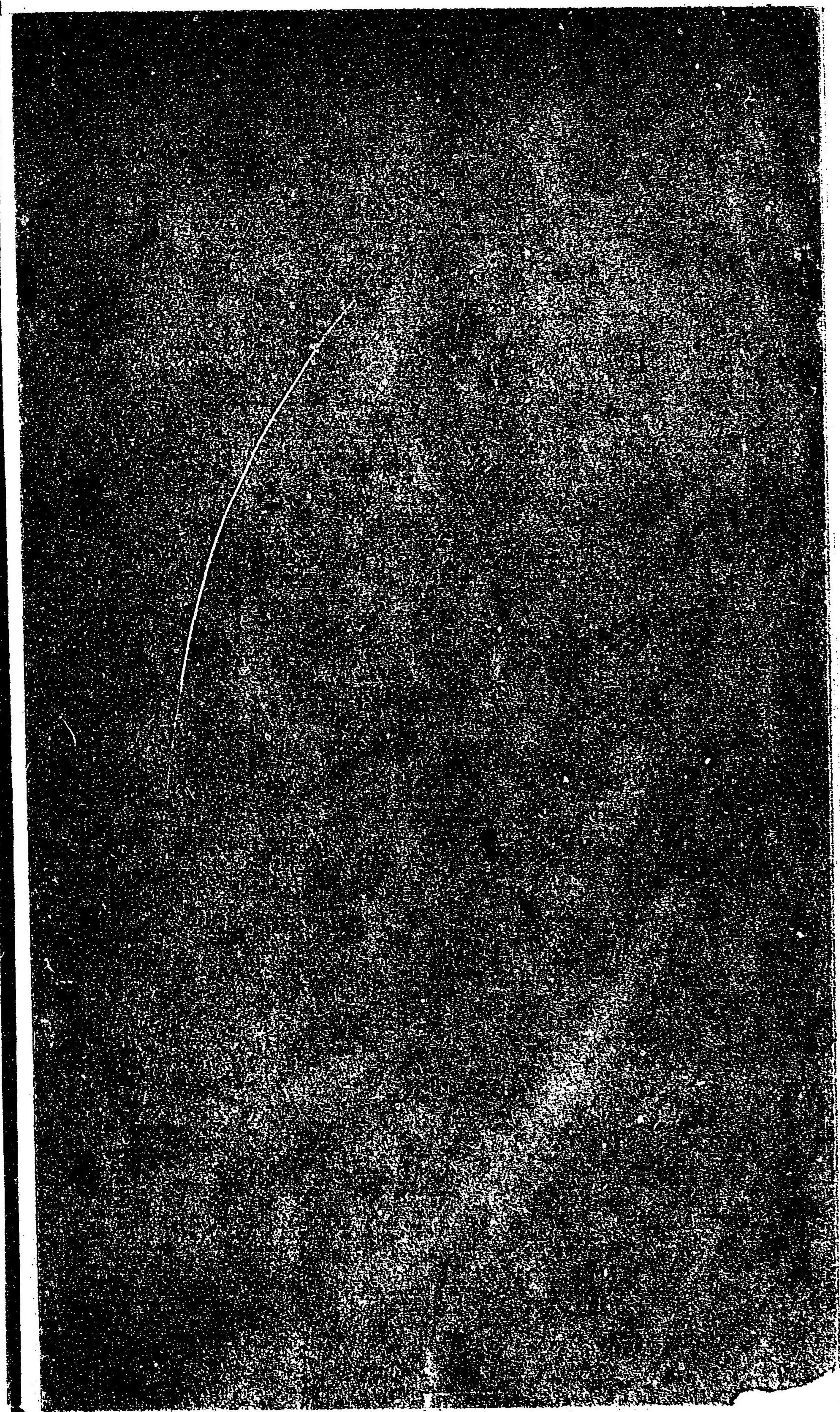
東京日本橋區本町三丁目
 同 京橋區竹川町
 同 神田區小川町
 同 日本橋區通三丁目
 同 京橋區銀坐四丁目
 同 日本橋區通四丁目
 同 久松町
 同 通盤町
 同 本町四丁目
 同 通旅籠町
 同 馬喰町二丁目
 同 通四丁目
 同 本石町

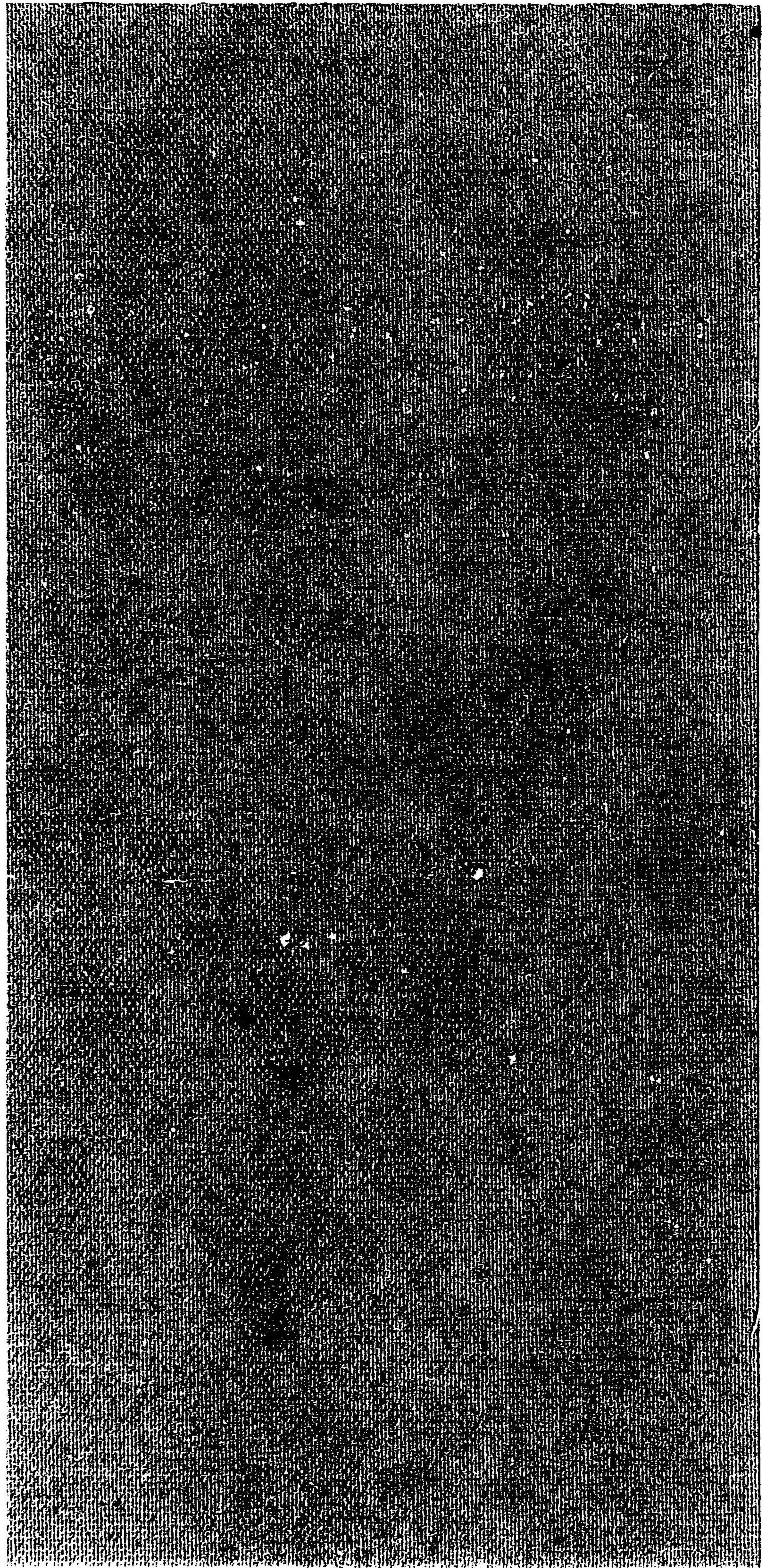
金 港 堂
 共 益 商 社 書 店
 集 成 社
 丸 善 書 店
 博 聞 社
 牧 野 書 房
 博 文 堂
 中 央 堂
 文 學 社
 集 英 堂
 石 川 書 房
 春 陽 堂
 上 田 屋

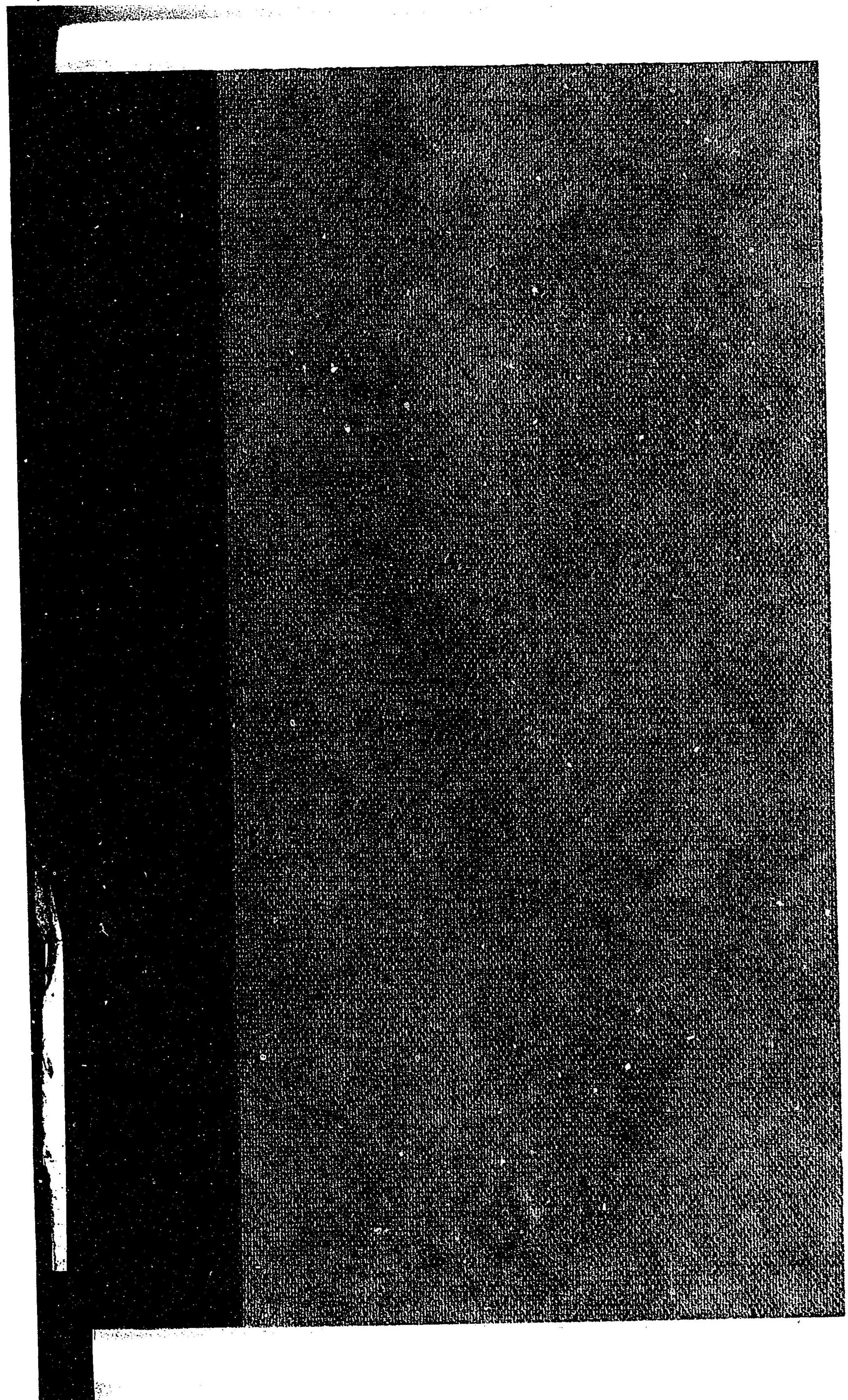
同 橘町四丁目
 同 下谷區練塀町
 同 芝區三島町
 同 麴町區麴町三丁目
 同 神田區裏神保町
 大坂 心齋橋通北久寶寺町
 同 西久太郎町四丁目
 同 備後町四丁目
 同 全
 京都 佛光寺通烏丸東入ル
 同 河原町二條下ル
 福嶋縣岩代郡山

鶴 聲 社
 普 及 社
 弦 卷 書 舖
 文 海 堂
 富 山 房
 三 木 佐 助
 柳 原 喜 兵 衛
 梅 原 龜 七
 岡 島 眞 七
 東 枝 律 書 房
 大 黑 屋
 煥 文 館









特 23

806

尋常師範・中学
高等女学校 教員学力試験問題

国立国会図書館

049893-000-7

特 23-806

尋常師範学校尋常中学校高等女学校教員学力試験問題

日下部 三之介 / 編

M 2 1

BEM-0634

